

東秩父村新庁舎建設工事

[illegible]

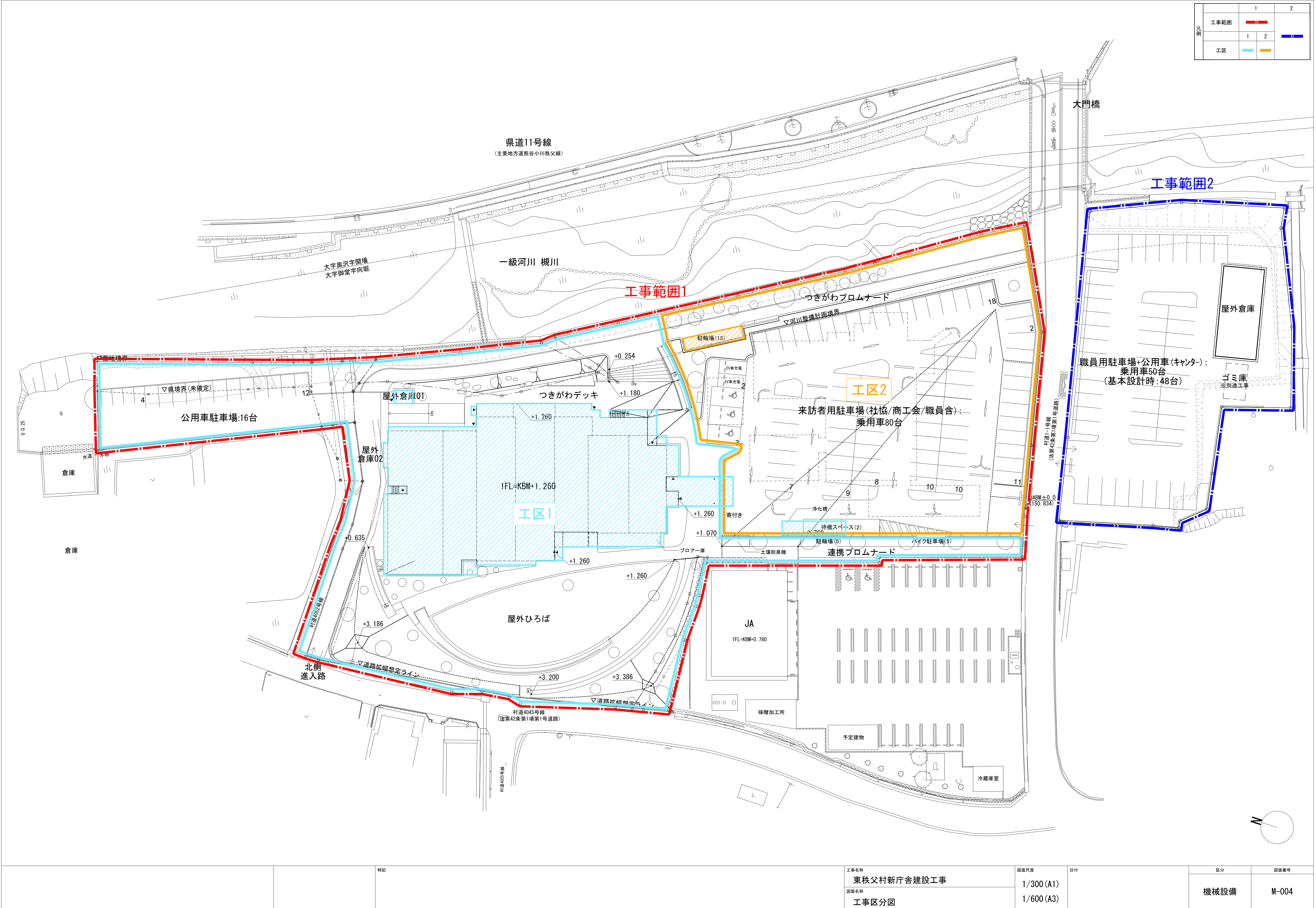
		特記	工事名称 東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	日付	区分	図面番号
			図面名称 図面リスト			機械設備	M-000

[illegible]

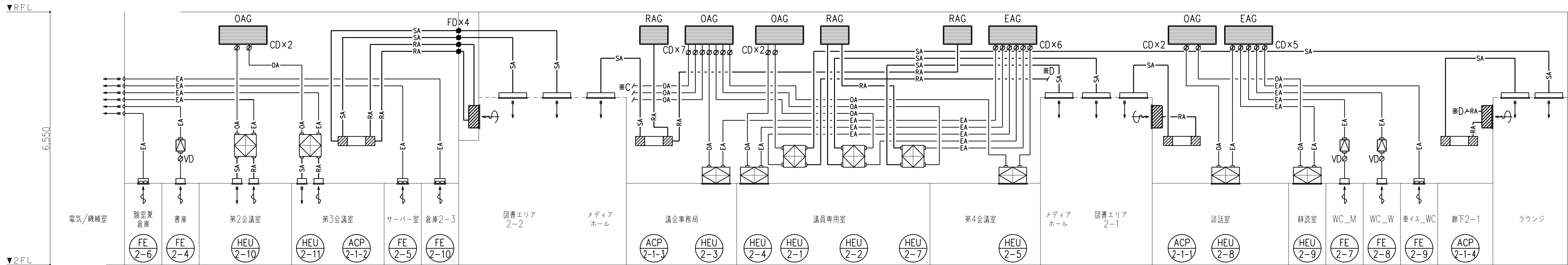
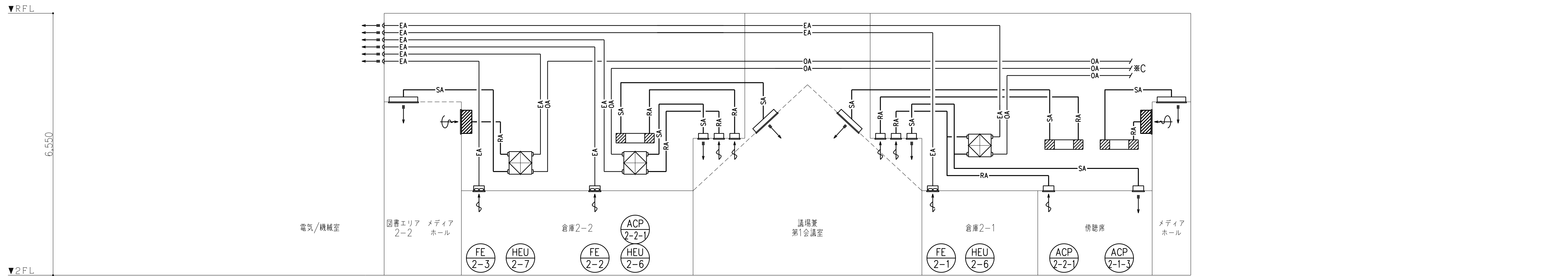
		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事			機械設備	M-001
			図面名称				
			特記仕様書(1)				

[illegible]

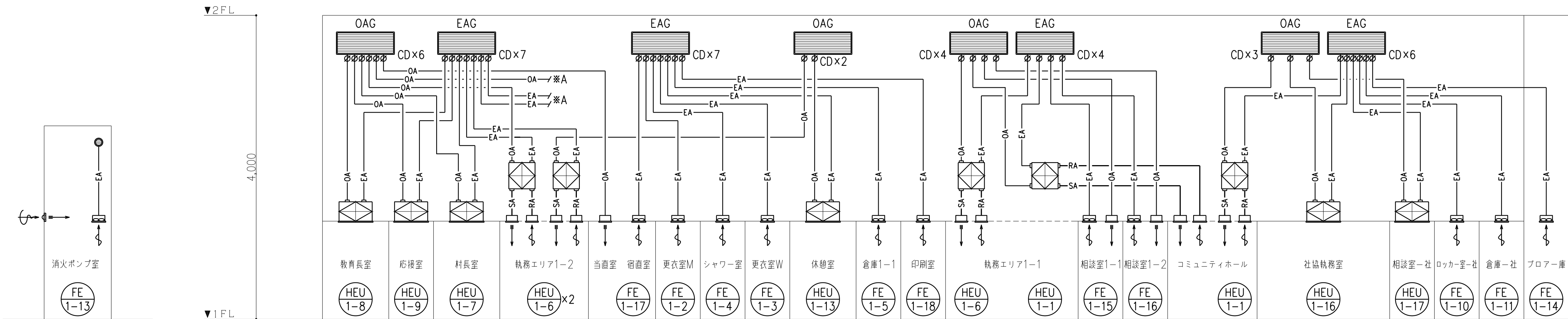
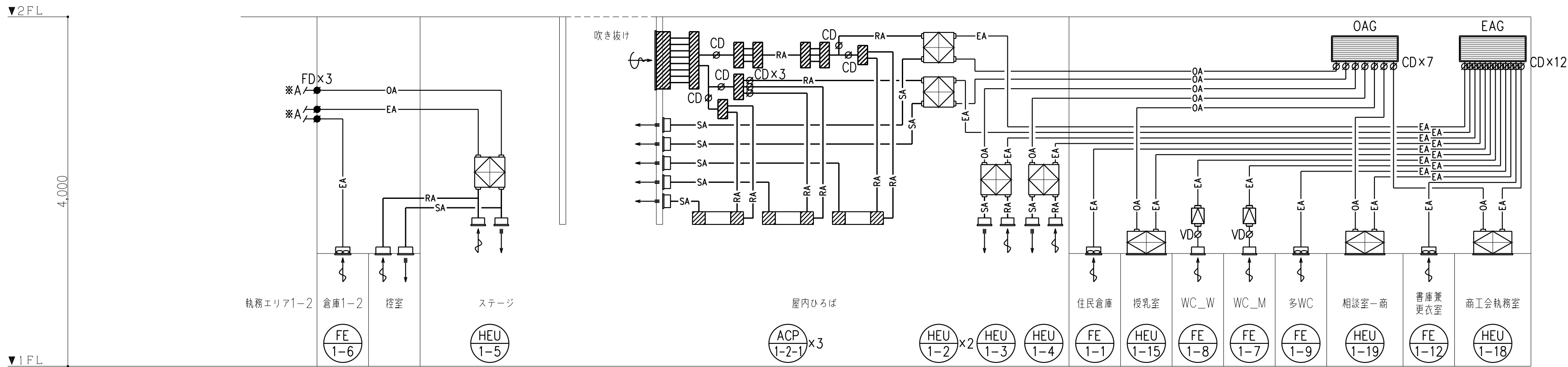
		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事			機械設備	M-003
			図面名称 特記仕様書(3)				



仕 様 書（ 補 足 ）				Ⅱ 工 事 区 分 表																									
Ⅰ 工 事 範 囲																													
○ 工事用地 工事用地は概要書による。その他の用地は工事区分図による。 工事用地の管理責任は工事請負契約締結日から引き渡しまで請負者によるものとする。																													
○ 工事範囲（工事範囲は以下の表による。）																													
項 目		含 む	別 途	備 考		項 目		建 築	電 気	機 械	（ ガ ス ） 含	昇 降 機	開 発	別 途	備 考		項 目		建 築	電 気	機 械	（ ガ ス ） 含	昇 降 機	開 発	別 途	備 考			
○ 建築	仮設	○				○ 昇降機	エレベーター	○									エレベーター各階出入口の壁の開口及び補強	○											
	土工・地業	○					電力引込設備	○									エレベータ各階押釦等の穴開	○											
	地盤改良	○		※発生する場合は含む			受変電設備										エレベーター機械室の床穴開及び補強	○											
	躯体	○					幹線設備										同上の穴埋め	○											
	外部仕上げ	○					動力設備										エレベーター機械室の搬入用開口及び同復旧	○											
	内部仕上げ	○					電灯・コンセント設備	○	○								エレベーター機械室の搬入用吊フック及びビーム	○											
	受付カウンター	○					構内情報通信設備	○									エレベーターの電源供給		○										
	固定棚（一部可動有り）	○					テレビ共同受信設備	○									エレベーター昇降路内の鋼製ファスナープレート（S造）	○											
	造作家具	○					インターホン・トイレ呼出設備	○									エレベータ昇降路内の鋼製の中間ビーム（S造）						○						
	造作Si本棚		○	※仕様、配置、形状検討は含む			拡声設備										エレベーター昇降路内の配線						○						
	議場家具		○	※仕様、配置、形状検討は含む			映像・音響設備	○	○								エレベーター昇降路外の配管						○						
	傍聴家具		○	※仕様、配置、形状検討は含む			監視カメラ設備	○									エレベーター昇降路外の配線						○						
	執務什器・家具・可動式パーテーション等		○	※仕様、配置、形状検討は含む			防犯入退室管理設備	-	-								エレベータ機械室の換気口	○											
	共用部什器		○	※仕様、配置、形状検討は含む			防災無線用配管設備 Jアラートノ県防災	○	○								エレベーター昇降路内の点検用タラップ	○											
	ロッカー		○	※仕様、配置、形状検討は含む			議場システム設備	○	○								エレベーター昇降路内の点検用差込		○										
	ハンドル式移動棚（集密書架）		○	※仕様、配置、形状検討は含む			デジタルサイネージ設備（総合案内電子パネル含む）	○									エレベーター昇降路内の煙感知器設備		○										
	消火器	○					自動火災報知設備	○									電動シャッター及び自動ドア等の制御盤・操作盤並びに配管配線	○	○										
	自動販売機・ウォーターサーバー		○				避雷設備	○									同上の1次側電源供給		○										
	冷蔵庫		○				非常照明・誘導灯設備	○									防火戸・防火シャッターの感知器、制御盤		○										
	サイン		○				電気時計設備	○	○								防火戸の2次配線		○										
	舞台機構（屋内ひろば）		○	含む：下地、配管 / 別途：機器、配線			太陽光発電設備	-	-								防火シャッターの2次配線		○										
	舞台音響／照明（屋内ひろば）		○	含む：下地、配管 / 別途：機器、配線			EV充電設備	○									防火扉等の閉鎖装置		○										
	オムツ交換台・授乳ソファ		○														同上の防災盤までの制御監視用配管配線		○										
エレベーター	○															防火扉・防火防煙シャッター・排煙口・給気口・ダンパー等用の	○	○											
○ 電気設備	電力引込設備	○		含む：引込柱		○ 給排水衛生	衛生器具設備	○									煙感知器及び配管配線												
	受変電設備	○					給水設備	○									電気錠本体		○										
	非常用発電機設備		○	含む：タンク貯蔵室			排水設備	○									同上の制御盤・操作盤		○										
	幹線設備	○					給湯設備	○									同上の配管		○							扉内配管配線は本工事			
	動力設備	○					浄化槽設備（屋外）	○									同上の配線		○										
	電灯・コンセント設備	○	○	別途：ハーネス用OAタップ													同上の配線		○										
	構内情報通信設備	○	○	含む：配管 / 別途：機器、配線													同上の1次側電源供給		○										
	電話配信設備	○	○	含む：配管 / 別途：機器、配線													同上の接続		○										
	テレビ共同受信設備	○	○	含む：配管、配線 / 別途：機器																									
	インターホン・トイレ呼出設備	○																											
	拡声設備	○																											
	映像・音響設備	○	○	含む：配管 / 別途：機器(下地含)、配線																									
	監視カメラ設備	○	○	含む：配管 / 別途：機器(下地含)、配線																									
	防犯入退室管理設備	-	-																										
	防災無線用配管設備 Jアラートノ県防災	○	○	含む：配管 / 別途：機器(下地含)、配線																									
	議場システム設備	○	○	含む：配管 / 別途：機器(下地含)、配線																									
	デジタルサイネージ設備（総合案内電子パネル含む）	○		含む：専用コンセント																									
	自動火災報知設備	○																											
	避雷設備	○		※建物高さが20mを超える場合は含む																									
	非常照明・誘導灯設備	○																											
	電気時計設備	○	○	含む：議場のみ / 別途：その他すべて																									
	太陽光発電設備	-	-																										
	EV充電設備	○	○	含む：配管、配線 / 別途：機器(下地含)																									
○ 給排水衛生	衛生器具設備	○				○ 空気調和																							
	給水設備	○																											
	排水設備	○																											
	給湯設備	○																											
	消火設備	○																											
	ガス設備	○																											
	浄化槽設備（屋外）	○																											
	空気調和設備	○																											
	空気調和ダクト設備	○																											
	空気調和配管設備	○																											
	換気設備	○																											
集中管理・自動制御設備	○																												
○ 屋外施設	盛土・整地	○		※開発関係対象工事分を除く			○ 照明器具含む	サイン類の本体（非電照式）	○																				
	植樹・造園	○						サイン類の本体（電照式）	○	○																			
	舗装	○						同上用一次側電源供給		○																			
	雨水排水設備	○	○	含む：仕上材選定、勾配レベル設定				同上の結線		○																			
	駐車場関連工事	○						デジタルサイネージ							○														
	階段・スロープ	○																											
	倉庫・車庫	○																											
	自転車止め	○																											
	キャノピー	○																											
	外構用照明・コンセント	○																											
	外構固定家具（ベンチ等）	○																											
○ 造成	手摺/柵/柵/バリアー等	○		※開発関係対象工事分を除く			○ 解体	湯沸室の流し台及び水栓	○								排水トラップ含む		○										
	旗ポール	○						同上への配管										電気温水器含む											
○ その他	造成（擁壁・盛土・整地等）	○		※屋外施設工事分を除く			○ 多目的ユニットのみ	湯沸室排気フード	○		○																		
	申請関係	○		※対象敷地面積10,000㎡未満のため無し				同上のダクト及び接続				○																	
	雨水排水設備	○						ユニットシャワー	○			○						水栓/排水トラップ共											
	下記解体工事範囲以外の既存外構（舗装・花壇等含）		○					同上への配管																					
	既存役場（周辺外構含）		○																										
	既存倉庫・車庫（周辺外構含）		○																										
	既存工作物敷地内移設／改造		○																										
	既存樹木敷地内移設／保存		○																										
	計測震度計移設		○																										
	電柱移設／撤去		○																										
			</																										



2階ダクト系統図



1階ダクト系統図

凡例

※ ● は、FDを示す。

注記

※省略記号の※○(英字)は、以降同英字に続く。

※FD設置箇所は系統図の他、平面図による。

※各配管、ダクト共に1F屋内ひろば・ステージの保温外装は屋内露出仕様とし、それ以外の循環天井(スリット天井)内の保温外装は天井内仕様とする。

特記

工事名称
東秩父村新庁舎建設工事

図面名称
空調換気設備 ダクト系統図

図面尺度

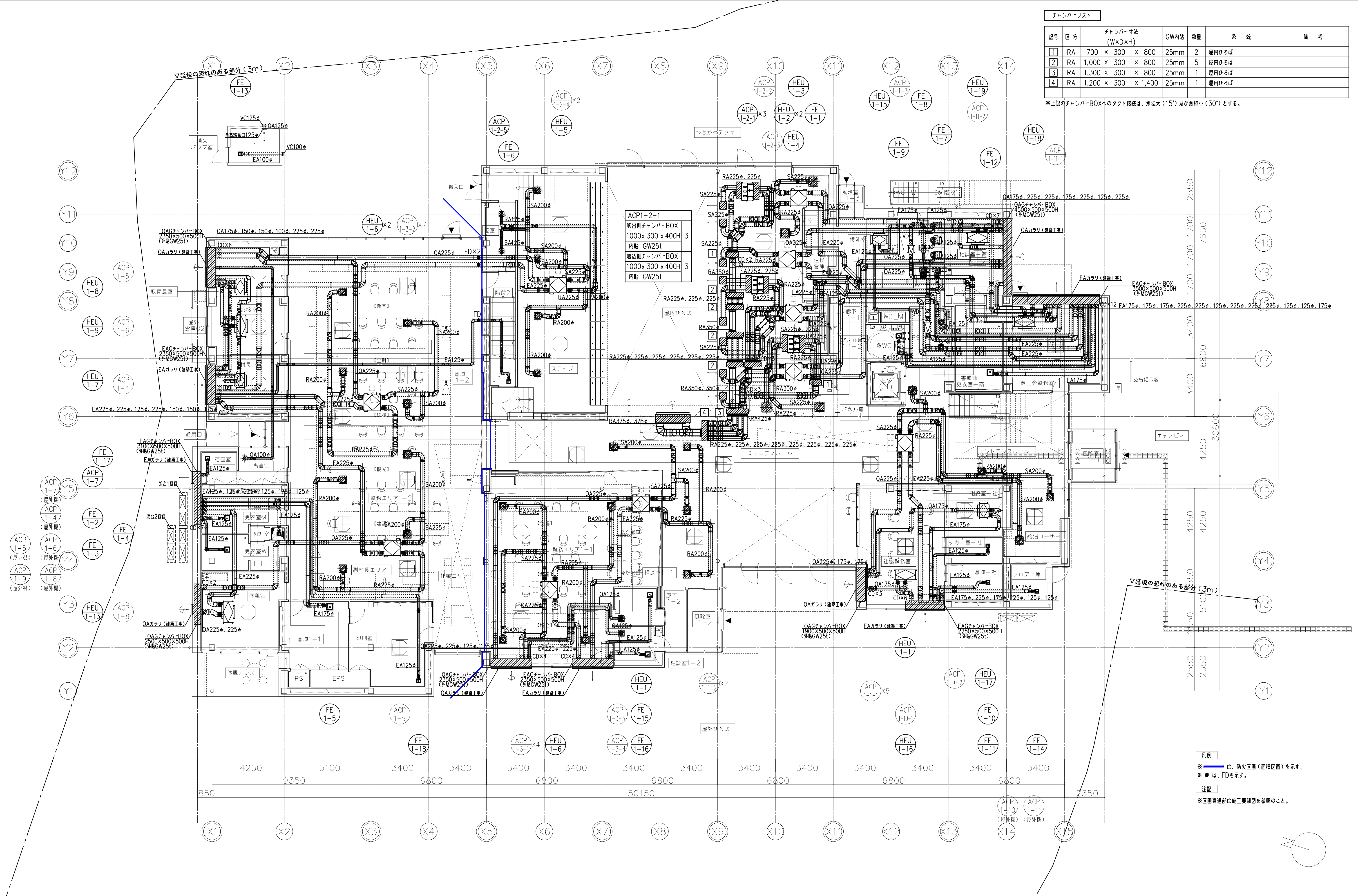
日付

区分

図面番号

機械設備

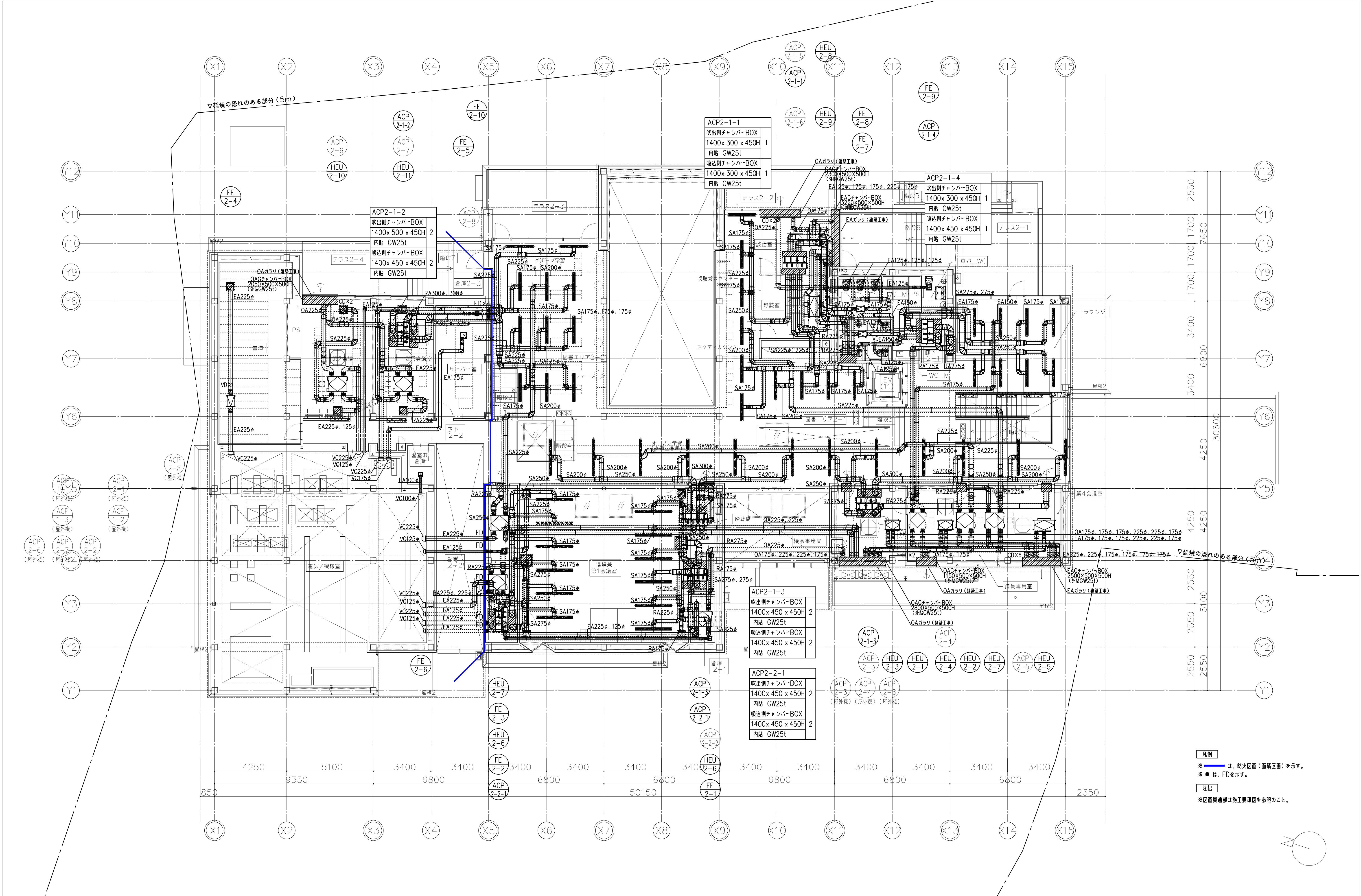
M-106

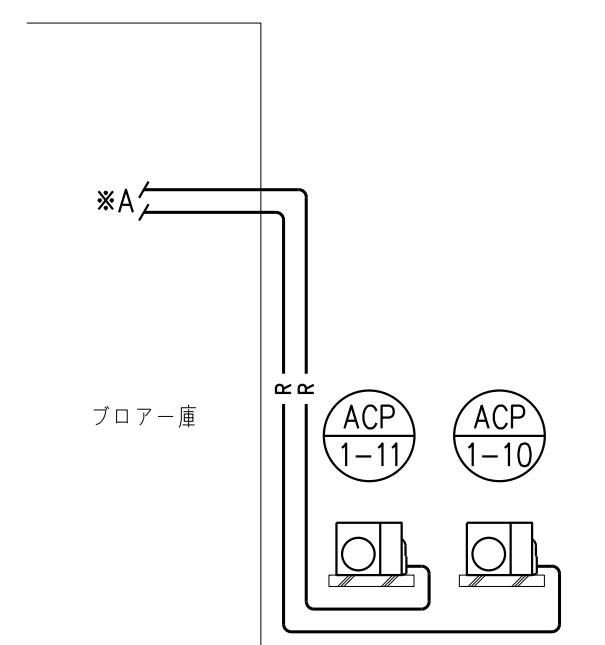
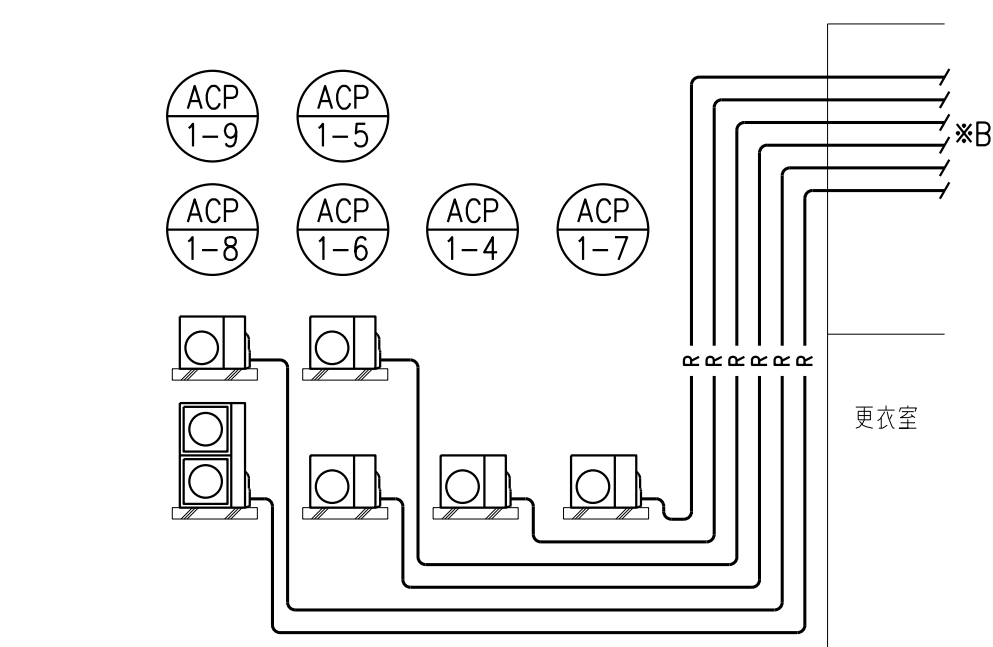
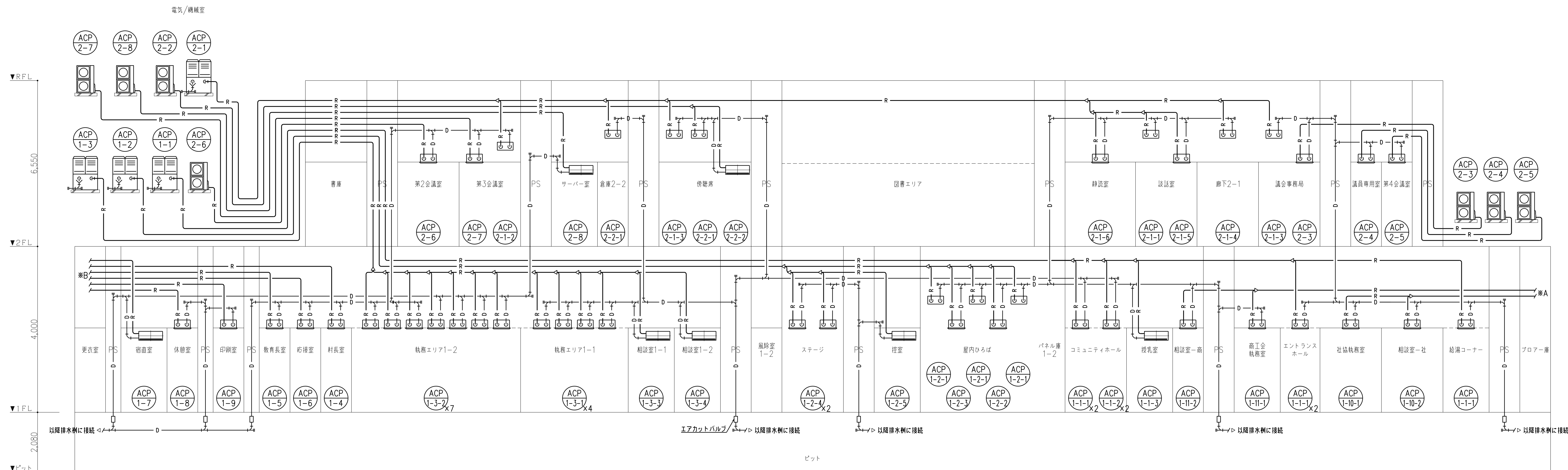


チャンパーリスト						
記号	区分	チャンパー寸法 (WxD×H)	GW内貼	数量	系 統	備 考
[1]	RA	700 × 300 × 800	25mm	2	屋内ひろば	
[2]	RA	1,000 × 300 × 800	25mm	5	屋内ひろば	
[3]	RA	1,300 × 300 × 800	25mm	1	屋内ひろば	
[4]	RA	1,200 × 300 × 1,400	25mm	1	屋内ひろば	

※上記のチャンパーBOXへのダクト接続は、漸拡大(15°)及び漸縮小(30°)とする。

凡例
※ 〓は、防火区画(面積区画)を示す。
※ ●は、FDを示す。
注記
※区画費通部は施工要領を参照のこと。





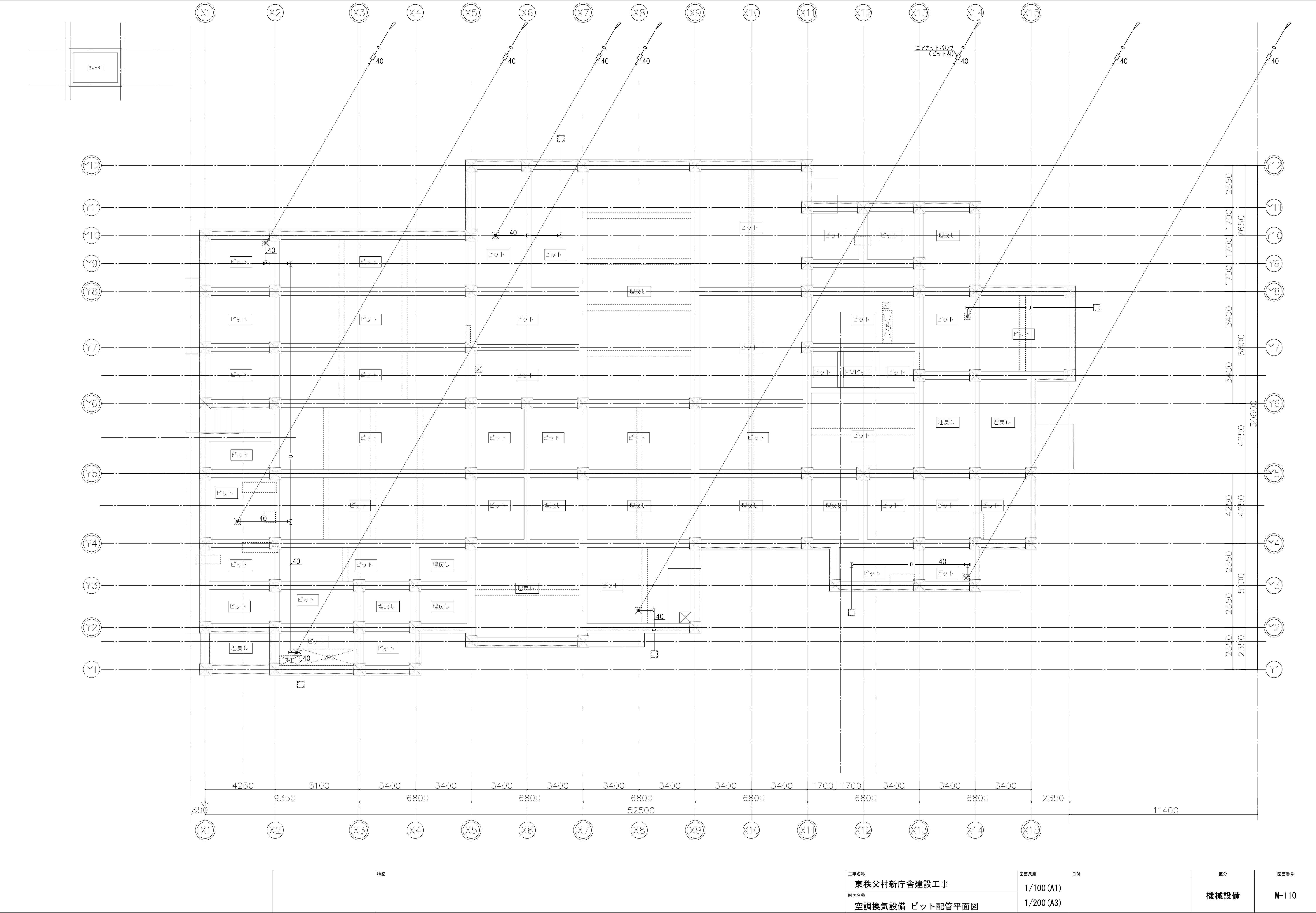
注記

※省略記号の※○（英字）は、以降同英字に続く。

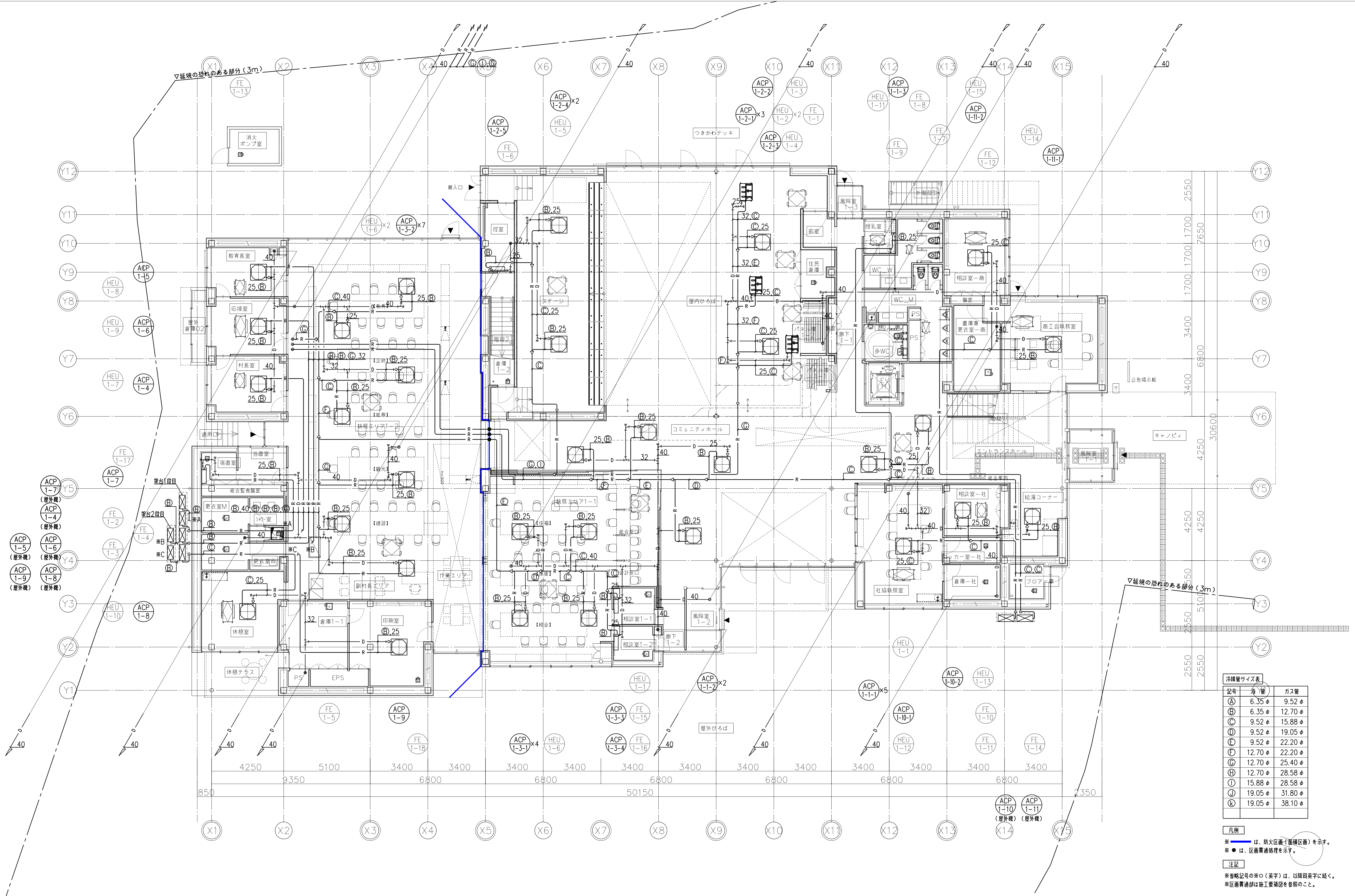
※区画貫通処理は平面図による。

※各配管、ダクト共に1F屋内ひろば・ステージの保温外装は屋内露出仕様とし、それ以外の仮想天井（スリット天井）内の保温外装は天井内仕様とする。

		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事			機械設備	M-109
			図面名称				
			空調換気設備 配管系統図				



		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事	1/100 (A1)			
			図面名称	1/200 (A3)			
			空調換気設備　ビット配管平面図			機械設備	M-110



冷媒管サイズ表		
記号	冷 管	ガ ス 管
Ⓐ	6.35 φ	9.52 φ
Ⓑ	6.35 φ	12.70 φ
Ⓒ	9.52 φ	15.88 φ
Ⓓ	9.52 φ	19.05 φ
Ⓔ	9.52 φ	22.20 φ
Ⓕ	12.70 φ	22.20 φ
Ⓖ	12.70 φ	25.40 φ
Ⓗ	12.70 φ	28.58 φ
Ⓘ	15.88 φ	28.58 φ
Ⓙ	19.05 φ	31.80 φ
Ⓚ	19.05 φ	38.10 φ

凡例

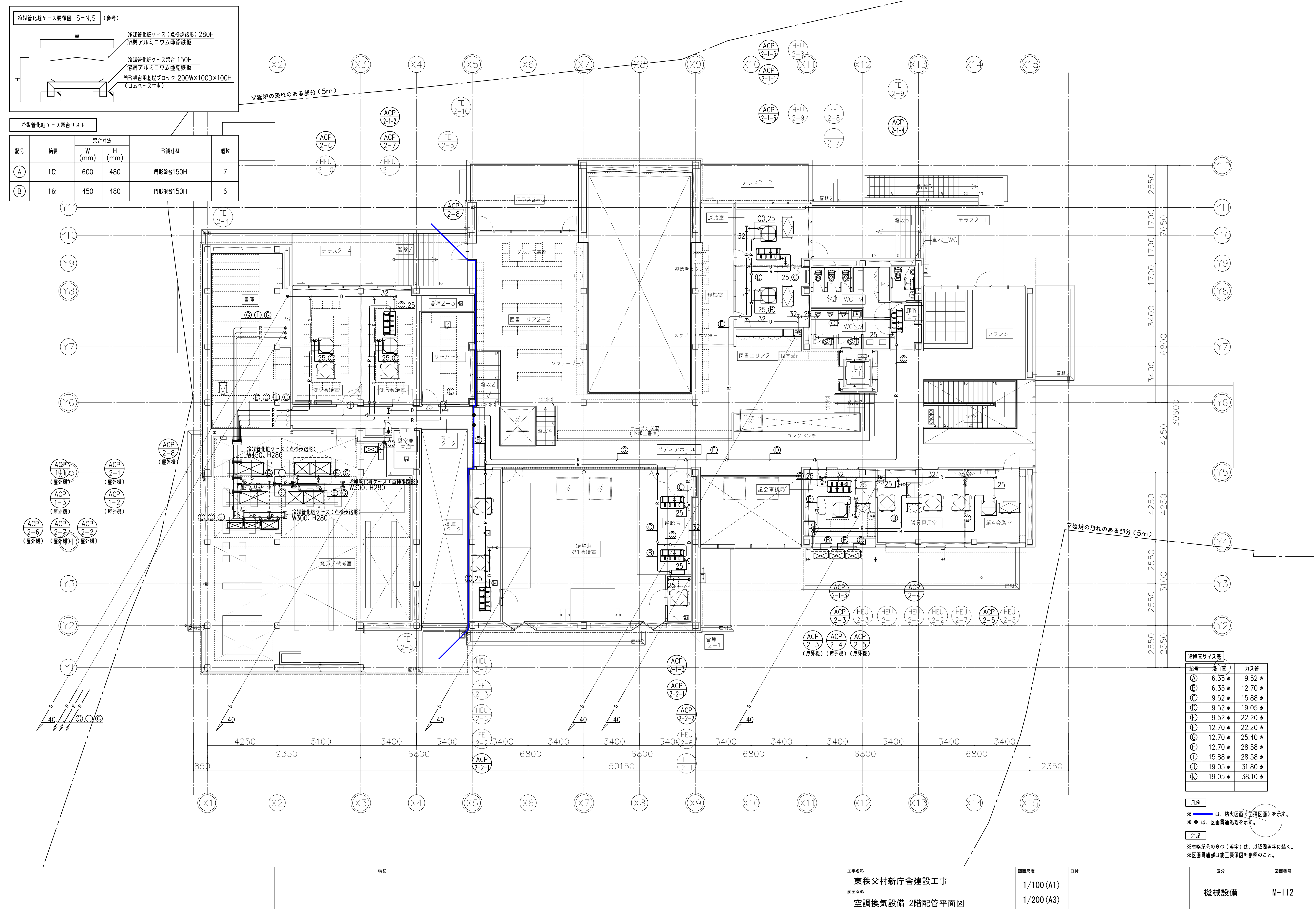
※ — は、防火区画（面積区画）を示す。

※ ● は、区画貫通処理を示す。

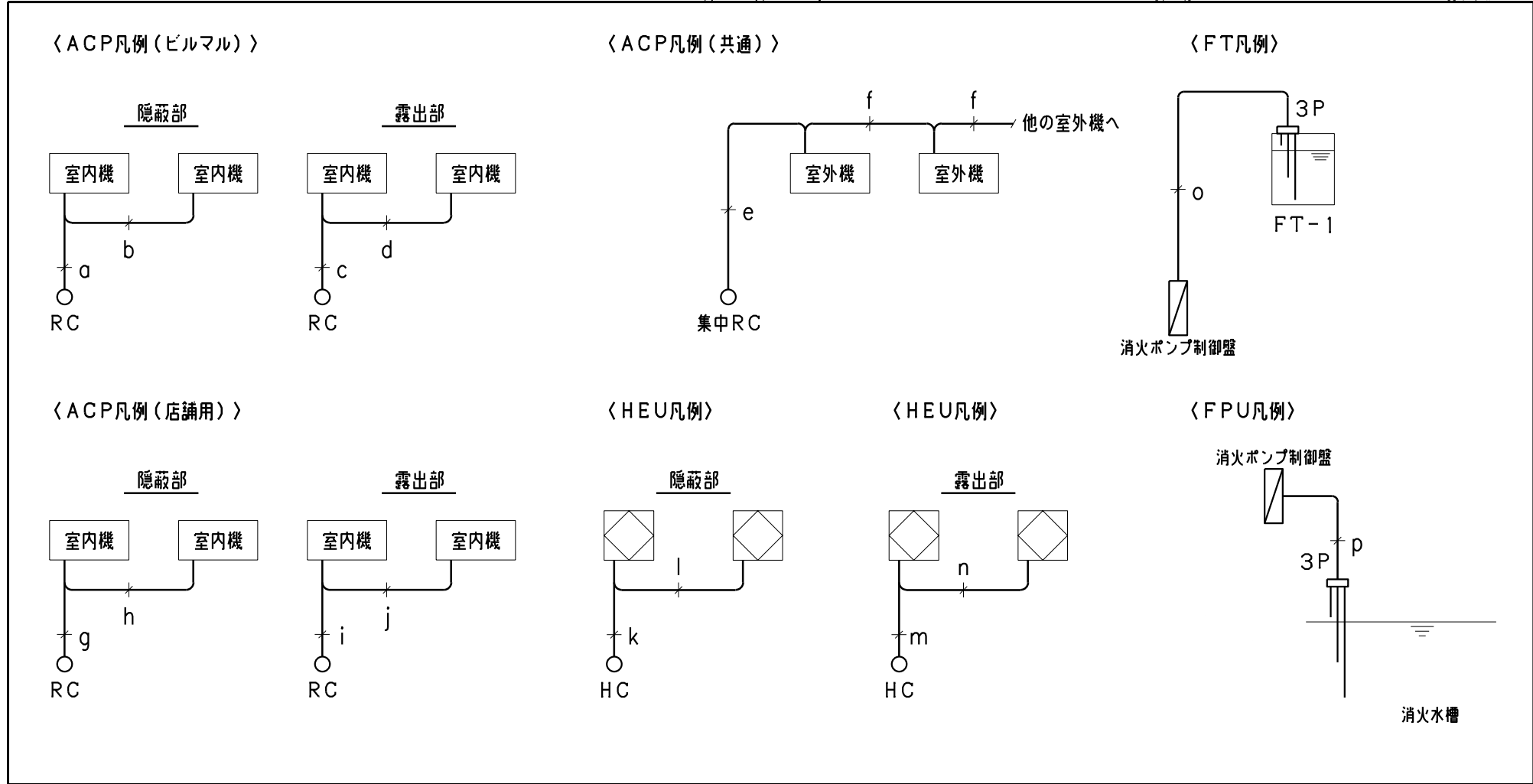
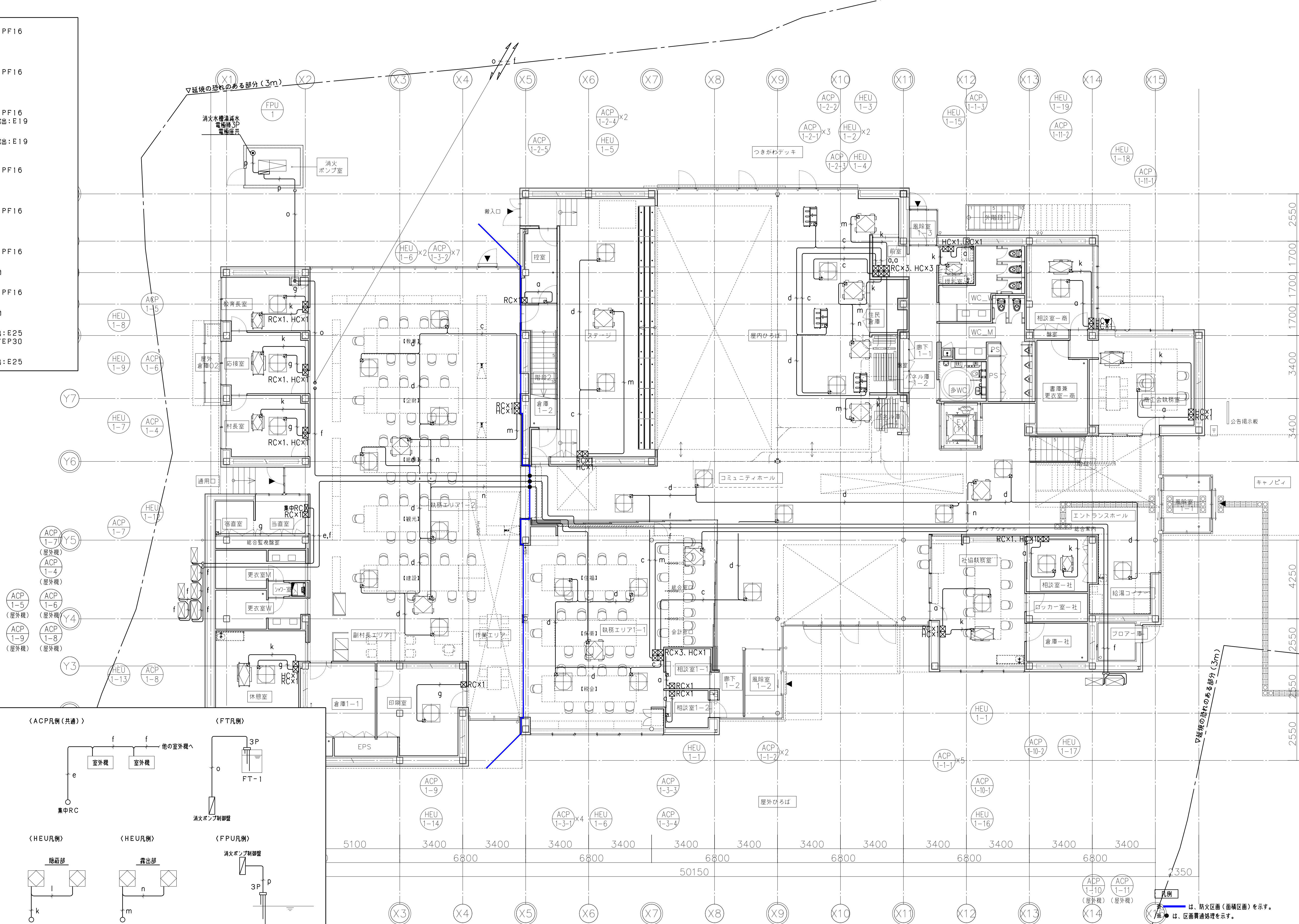
注記

※省略記号の※○（英字）は、以降同英字に続く。

※区画貫通部は施工要領図を参照のこと。



- a-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、壁内: PF16
- b-
EM-CEES1, 250-2C (冷媒管共巻) 連動
- c-
EM-CEES1, 250-2C 屋内露出: E19、壁内: PF16
- d-
EM-CEES1, 250-2C (冷媒管共巻) 連動
- e-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、壁内: PF16
屋外露出: G16、屋内露出: E19
- f-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、屋内露出: E19
室外機凝り: G16
- g-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、壁内: PF16
- h-
EM-EEF2, 00-3C (冷媒管共巻) 連動
- i-
EM-CEES1, 250-2C 屋内露出: E19、壁内: PF16
- j-
EM-EEF2, 00-3C (冷媒管共巻) 連動
- k-
EM-CEES1, 250-2C 天井内: コロガシ、壁内: PF16
- l-
EM-CEES1, 250-2C (天井内: コロガシ) 連動
- m-
EM-CEES1, 250-2C 屋内露出: E19、壁内: PF16
- n-
EM-CEES1, 250-2C (屋内露出: E19) 連動
- o-
EM-CEES2, 00-3C 天井内: コロガシ、屋内露出: E25
屋外露出: G22、土中: FEP30
- p-
EM-CEES2, 00-3C 天井内: コロガシ、屋内露出: E25



凡例

※は、防火区分(面積区分)を示す。

※は、区画貫通処理を示す。

注記

※区画貫通部は施工要領図を参照のこと。

特記

工事名称

東秩父村新庁舎建設工事

図面名称

計装設備 1階平面図

図面尺度

1/100 (A1)

1/200 (A3)

日付

区分

機械設備

M-114

[illegible]

記 号	機 器 名	台数	機 器 仕 様	電 力 量 50Hz			起動	非常電源	設 置 場 所		備 考
				φ	V	kW			階	室 名	
WHG-1	瞬間式ガス給湯器	1	型 式	:屋外壁掛形 給湯のみ(潜熱回収形)							
			能 力	:16号							
			ガス消費量	:給湯29.4kW (2.10kg/h) (LPG)							
			接続口径	:給水・給湯20A ガス15A							
			付 属 品	:リモコン×1、リモコンコード(20m)、配管カバー、排気カバー、取付金具 他標準付属品一式							
			そ の 他	:設置・転倒防止の措置は国土交通省告示第1447号「建築設備の構造 耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改訂する件」に対応する事。							
WHE-1	貯湯式電気温水器	5	型 式	:貯湯式電気温水器(先止め・床置設置型・雑用)							
			(1) 貯 湯 量	:20L(適温出湯機能付)							
			(1) 制 御	:ウィークリータイマー							
			(1) 接続口径	:給水・給湯13A							
			(1) 付 属 品	:アングル形止水栓、自動湯水入替機能、膨張水排出装置							
			(1)	省エネ温調タイマー、 減圧弁、逃し弁 (JIS B 8410)、他標準付属品一式							
			そ の 他	:設置・転倒防止の措置は国土交通省告示第1447号「建築設備の構造 耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改訂する件」に対応する事。							
WHE-2・3	貯湯式電気温水器		台数・仕様・設置箇所は衛生器具表を参照								
			</								

		特記	工事名称 東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	日付	区分	図面番号
			図面名称 給排水衛生設備 機器表			機械設備	M-201

給排水衛生設備 器具表

器具名	主要付属品	参考品番 (TOTO)	参考品番 (LIXIL)	電源 (100V)	非常電源	階	1階										2階				屋外					備考
						室名	WC	WC	WC	授乳室	給湯コーナー	社協執務室	休憩室	更衣室M	更衣室W	シャワー室	消火ポンプ室	WC	WC	車イスWC	電気／機械室	議事事務局	屋外倉庫O2			
床置大便器	掃除口付床置床排水大便器・フラッシュタンク式、温水洗浄便座(貯湯式・AC100V/311W)、擬音装置、タッチスイッチ、棚付二連紙巻器付(SUS製)、他付属品一式	CFS498BYC + TCF5534AU + YH702	BC-P110SMA + DQ-PA150CH CW-PA21LQE-NE-R1 + CF-020-SET + CF-63HST	○	○	10	2	3										2	3							
コハバト多機能トイレハット	大便器：床置床排水大便器、ロータンク、温水洗浄便座(貯湯式・AC100V/409W)、背もたれ、手すり、ベビーチェア、フィッティングボード付、洗面・手洗い：洗面器、手洗器、水栓、電気温水器1L(WHE-2付)(AC100V/505W)	UADB261L1A1ASD1BA + TCF5554AUPR	PTWC-HC101L1A1ASWL + CW-PC12-CK-UR-TU AC-BK-F62 + AC-CB-14	○	○	1			1																	
	汚物流し：壁掛壁排水汚物流し、ロータンク、電気温水器3L(WHE-3付)(AC100V/600W)																									
	その他：温風乾燥、棚付二連紙巻器(SUS製)、タッチスイッチ、洗浄レバー、他付属品一式																									
幼児用補助便座		TC51	－	－	－	1			1																	
車イス対応便器	大便器：床置床排水大便器、フラッシュタンク式、温水洗浄便座(貯湯式・AC100V/409W)、擬音装置、手すり(L型・700×700) その他：温風乾燥、棚付二連紙巻器(SUS製)、タッチスイッチ、他付属品一式	CS498BC + TCF5554AUPR + T112CL10 YH702	BC-P110SM + DQ-PA150CH + CW-PC12QE-NECK KS-623 + CF-63HST + KF-920AE70D12J	○	○	1													1							
壁掛小便器	壁掛壁排水自動洗浄タイプ(自己発電タイプ)、低リフト型	UFS900WR	U-A51MP	○	○	7	4											3								
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、排水金具×2、他付属品一式	MC60C1500番#NW1W + MFT3C1494D1NB12W YMK51K + TLE26SS1A + M356W	MB-501KD7WS(1500)/BW-01 + MTP1-K50C75(750)/W KF-D3611AS + AM-320CV1 + LF-105PAL-H + A-6223	○	○	2	1	1																		
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、排水金具×2、他付属品一式	MC60R1500番#NW1W + MFT3Q1479D1NB12W YMK51K + TLE26SS1A + M356W	MB-501KD7WR(1500)/BW-01 + MTP1-K50C75(737)/W KF-D3611AS + AM-320CV1 + LF-105PAL-H + A-6223	○	○	1													1							
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、排水金具×2、他付属品一式	MC60C1575番#NW1W + MFT3C1569D1NB12W YMK51K + TLE26SS1A + M356W	MB-501KD7WS(1575)/BW-01 + MTP1-K50C75(691)/W MTP1-K50C75(884)/W + KF-D3611AS + AM-320CV1 LF-105PAL-H + A-6223	○	○	1													1							
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、排水金具×2、止水栓×2、連結管×2 電気温水器3L(WHE-3付)(AC100V/600W)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、膨張水処理ユニット×2、他付属品一式	MC60C1995番#NW1W + MFT3C1989D1NB12W YMK51K + M356W + TL347CU RHE436-15 + REAH03B11RS26SK	MB-501KD7WS(1995)/BW-01 + MTP1-K50L75(247)/W MTP1-K50C75(750)/W + MTP1-K50R75(248)/W KF-D3611AS + LF-105PAL-H + EFH-6 + A-6223 LF-3VK + EHMN-CA3SC1-320C	○	－	1							1													
マブライカウンター洗面器	マブライカウンター、フロントパネル扉、化粧鏡(360×1100)×2、排水金具×2、止水栓×2、連結管×2 電気温水器3L(WHE-3付)(AC100V/600W)×2、台付自動水栓(AC100V)×2、膨張水処理ユニット×2、他付属品一式	MC60C1725番#NW1W + MFT3C1719D1NB12W YMK51K + M356W + TL347CU RHE436-15 + REAH03B11RS26SK	MB-501KD7WS(1725)/BW-01 + MTP1-K50L75(198)/W TP1-K50L75(525)/W + MTP1-K50C75(1002)/W KF-D3611AS + LF-105PAL-H + EFH-6 + A-6223 LF-3VK + EHMN-CA3SC1-320C	○	－	1								1												
壁掛手洗器	壁掛手洗器、台付自動水栓(AC100V)、水石けん入れ、排水金具、止水栓、電気温水器3L(WHE-3付)(AC100V/600W)、他付属品一式	L30DM + TS126AR + REAH03B11RS26SK	L-15G + KF-24F + LF-3VK + LF-10PA + KF-30DN SF-5E + EFH-HM1-25 + EHMS-CA3SC1-320C	○	○	1													1							
手すり	大便器用(L型・700×700)、固定金具、他付属品一式	T112CL10	KF-920AE70D12J	－	－	4	1	1											1	1						
手すり	大便器用(はね上げ・700L)、固定金具、他付属品一式	T112HK7R	KF-471EH70JU	－	－	1														1						
手すり	小便器用、固定金具、他付属品一式	T112CU22	KF-701AEJ	－	－	2	1												1							
化粧鏡	600×900	YM6090A	KF-6090	－	－	2			1											1						
掃除用流し	単水栓、鎖付きゴム栓、リムカバー	SK22A + T23AEQ20C	S-202A + LF-7E-19-U	－	－	2	1												1							
ベビーチェア		YKA15S	AC-BK-F62	－	－	1														1						
ベビーシート		YKA25S	AC-OK-21F	－	－	1														1						
シャワーユニット(水栓共)	※配管接続及び水量調整等の試運転調整は本工事	(建築工事)	(建築工事)	－	－	(1)									(1)											
ミニキッチン用水栓	シングルレバー混合水栓(台付/分水口付)	TKS05309J	SF-HB420SYXB	－	－	5				1	1	1	1							1						
上記用ミニキッチン	※混合栓・配管接続及び水量調整等の試運転調整は本工事	(建築工事)	(建築工事)	－	－	(5)				(1)	(1)	(1)	(1)							(1)						
洗濯パン	640×640、排水トラップ	PWP640N2W + PJ2008NW	PF-6464AC/W + TP-52	－	－	1																				
上記用洗濯用水栓	緊急時止水機能付き	TW11R	LF-WJ50KQA	－	－	1																	1			
横水栓	キー式カップリング付(逆止弁付)	T28AKUH13	LF-35G-13-CV	－	－	2															1		1			
屋外散水栓	カップリング付(逆止弁付)、SUS製立型散水栓BOX(キー付)、散水栓用バキュームブレーカー、他付属品一式	T28UNH13	LF-33-13-CV	－	－	7																	7			

特記事項

1. 器具は全てセット品とし、標準付属品を全て含むものとする。(色については現場にて指示のこと)

2. 水栓には止水栓を設ける。

3. JIS抗菌規格適合品とする。

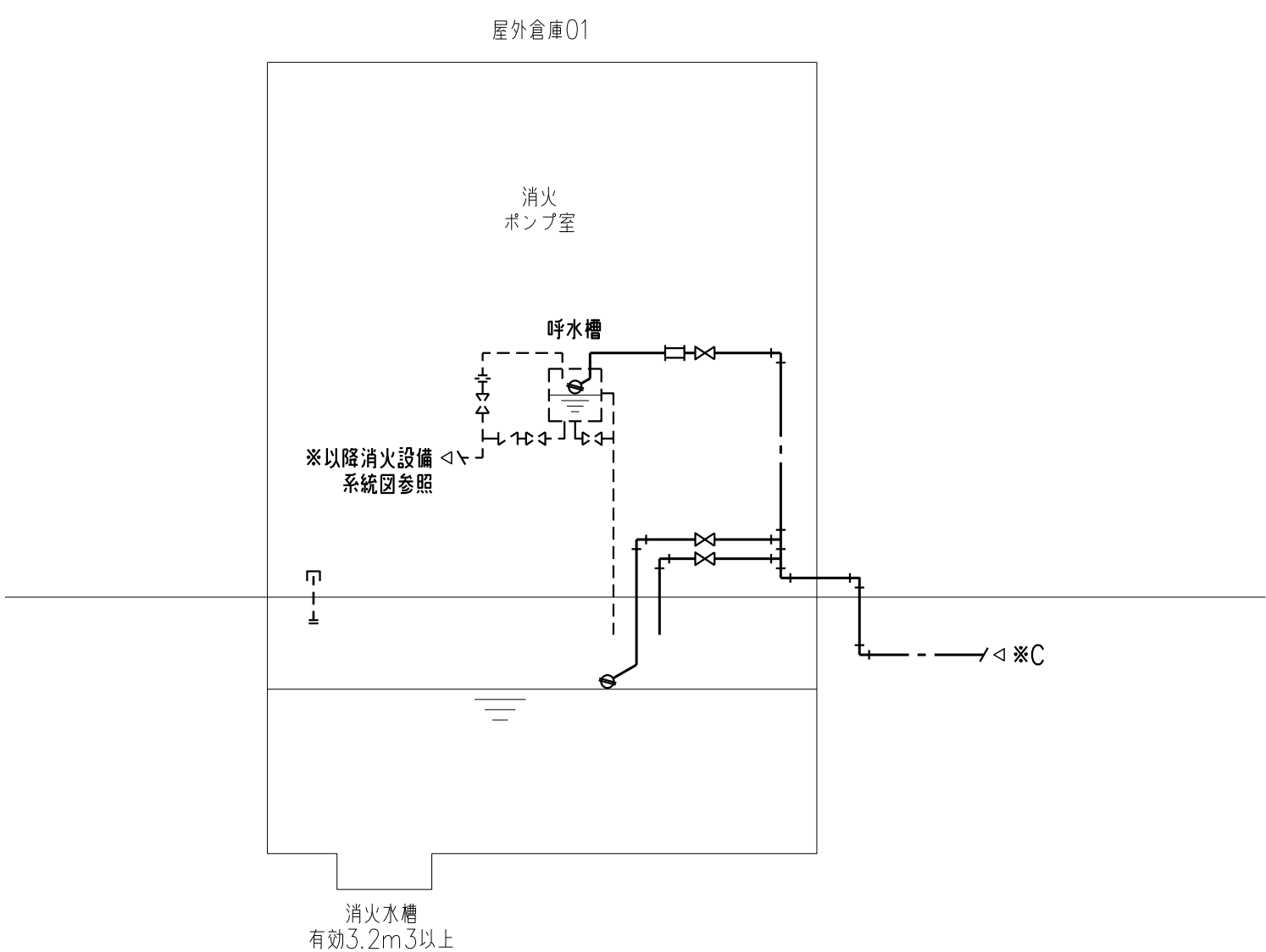
4. 品番は参考とし、同等品以上とする。

5. 特記無き器具据付下地は建築工事とする。

6. プレゼンテーションシートを作成し、監督員の承諾を得る事。(色含む)

工事名称 東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	日付	区分	図面番号
			機械設備	M-202

図面名称
給排水衛生設備 器具表



注記1

※1は、以降排水樹へ接続を示す。
 ※配管省略記号の※○(英字)は、以降四文字に続く。
 ※断面配管処理は平面図による。

※配管、タクト共に1階室内のろば・ステージの保温外装は屋内露出仕様とし、それ以外の仮想天井(スリット天井)内の保温外装は天井内仕様とする。

注記2

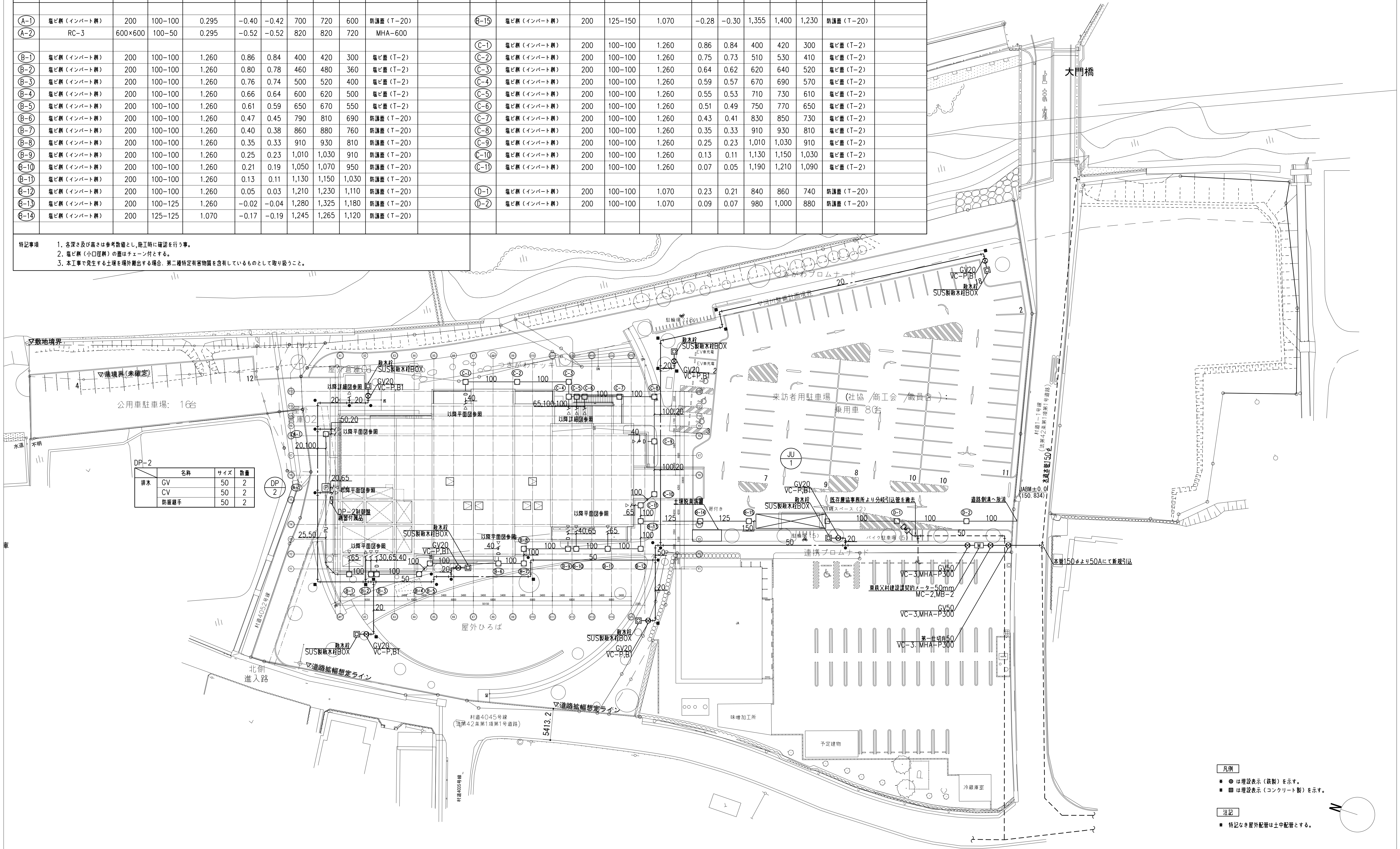
- 1). 特記無き排水口耐圧は、JIS5K(一時間のみ10K)とする。
- 2). 屋外で使用する配管用ブラケット及び点検ステップ等は全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
- 3). 区画貫通配管は、貫通部分を不燃材で埋めること。
- 4). 設置、転倒防止の措置は国土交通省告示第1447号「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改訂する件」に対応する事。
- 5). 電気温水器の排水は、簡排水でドリップ付とすること。
- 6). 床上排水口の設置場所は、意匠を考慮し施工すること。

		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事			機械設備	M-203
			図面名称 給排水衛生設備 系統図				

汚 水 罫 リ ス ト

NO	罫 種 類 (仕様)	罫 寸 法	接続管サイズ 流入～流出 (mm)	地 盤 高 (KBM基準) (m)	管底高 (KBM基準)		罫 深 さ		土 被 り (mm)	罫 蓋	備 考	NO	罫 種 類 (仕様)	罫 寸 法	接続管サイズ 流入～流出 (mm)	地 盤 高 (KBM基準) (m)	管底高 (KBM基準)		罫 深 さ		土 被 り (mm)	罫 蓋	備 考	
					流入 (m)	流出 (m)	流入 (mm)	流出 (mm)									流入 (m)	流出 (m)	流入 (mm)	流出 (mm)				
(A-1)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	0.295	-0.40	-0.42	700	720	600	防護蓋 (T-20)		(B-15)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	125-150	1.070	-0.28	-0.30	1,355	1,400	1,230	防護蓋 (T-20)		
(A-2)	RC-3	600×600	100-50	0.295	-0.52	-0.52	820	820	720	MHA-600														
(B-1)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.86	0.84	400	420	300	塩ビ蓋 (T-2)		(C-1)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.86	0.84	400	420	300	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-2)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.80	0.78	460	480	360	塩ビ蓋 (T-2)		(C-2)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.75	0.73	510	530	410	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-3)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.76	0.74	500	520	400	塩ビ蓋 (T-2)		(C-3)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.64	0.62	620	640	520	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-4)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.66	0.64	600	620	500	塩ビ蓋 (T-2)		(C-4)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.59	0.57	670	690	570	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-5)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.61	0.59	650	670	550	塩ビ蓋 (T-2)		(C-5)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.55	0.53	710	730	610	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-6)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.47	0.45	790	810	690	防護蓋 (T-20)		(C-6)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.51	0.49	750	770	650	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-7)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.40	0.38	860	880	760	防護蓋 (T-20)		(C-7)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.43	0.41	830	850	730	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-8)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.35	0.33	910	930	810	防護蓋 (T-20)		(C-8)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.35	0.33	910	930	810	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-9)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.25	0.23	1,010	1,030	910	防護蓋 (T-20)		(C-9)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.25	0.23	1,010	1,030	910	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-10)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.21	0.19	1,050	1,070	950	防護蓋 (T-20)		(C-10)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.13	0.11	1,130	1,150	1,030	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-11)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.13	0.11	1,130	1,150	1,030	防護蓋 (T-20)		(C-11)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.07	0.05	1,190	1,210	1,090	塩ビ蓋 (T-2)		
(B-12)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.260	0.05	0.03	1,210	1,230	1,110	防護蓋 (T-20)		(D-1)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.070	0.23	0.21	840	860	740	防護蓋 (T-20)		
(B-13)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-125	1.260	-0.02	-0.04	1,280	1,325	1,180	防護蓋 (T-20)		(D-2)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	100-100	1.070	0.09	0.07	980	1,000	880	防護蓋 (T-20)		
(B-14)	塩ビ罫 (インバート罫)	200	125-125	1.070	-0.17	-0.19	1,245	1,265	1,120	防護蓋 (T-20)														

特記事項
1. 各深さ及び高さは参考数値とし、施工時に確認を行う事。
2. 塩ビ罫 (小口径罫) の蓋はチェーン付とする。
3. 本工事で発生する土壌を場外搬出する場合、第二種特定有害物質を含有しているものとして取り扱うこと。



凡例

●

は埋設表示 (鉄製) を示す。

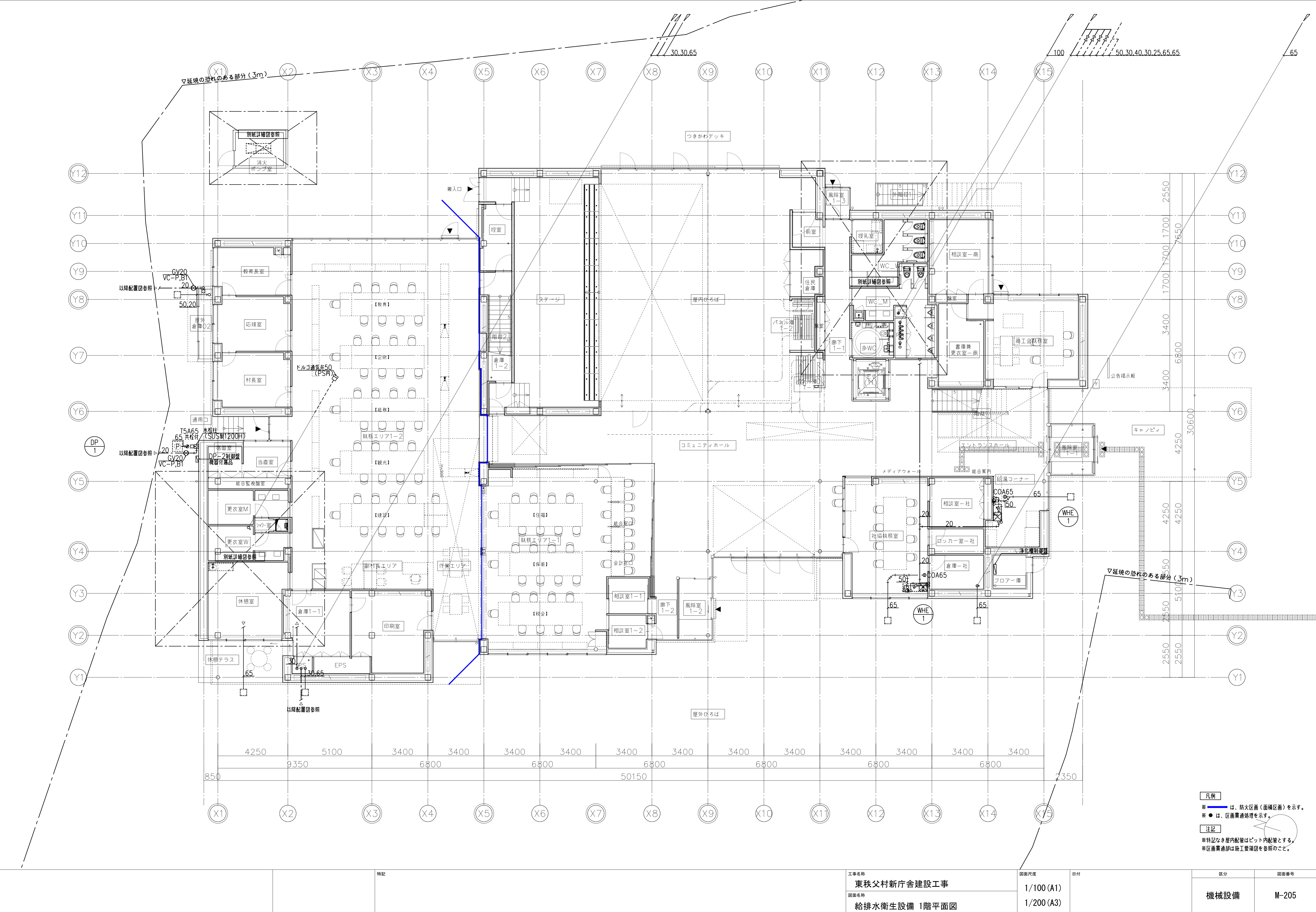
■

は埋設表示 (コンクリート製) を示す。

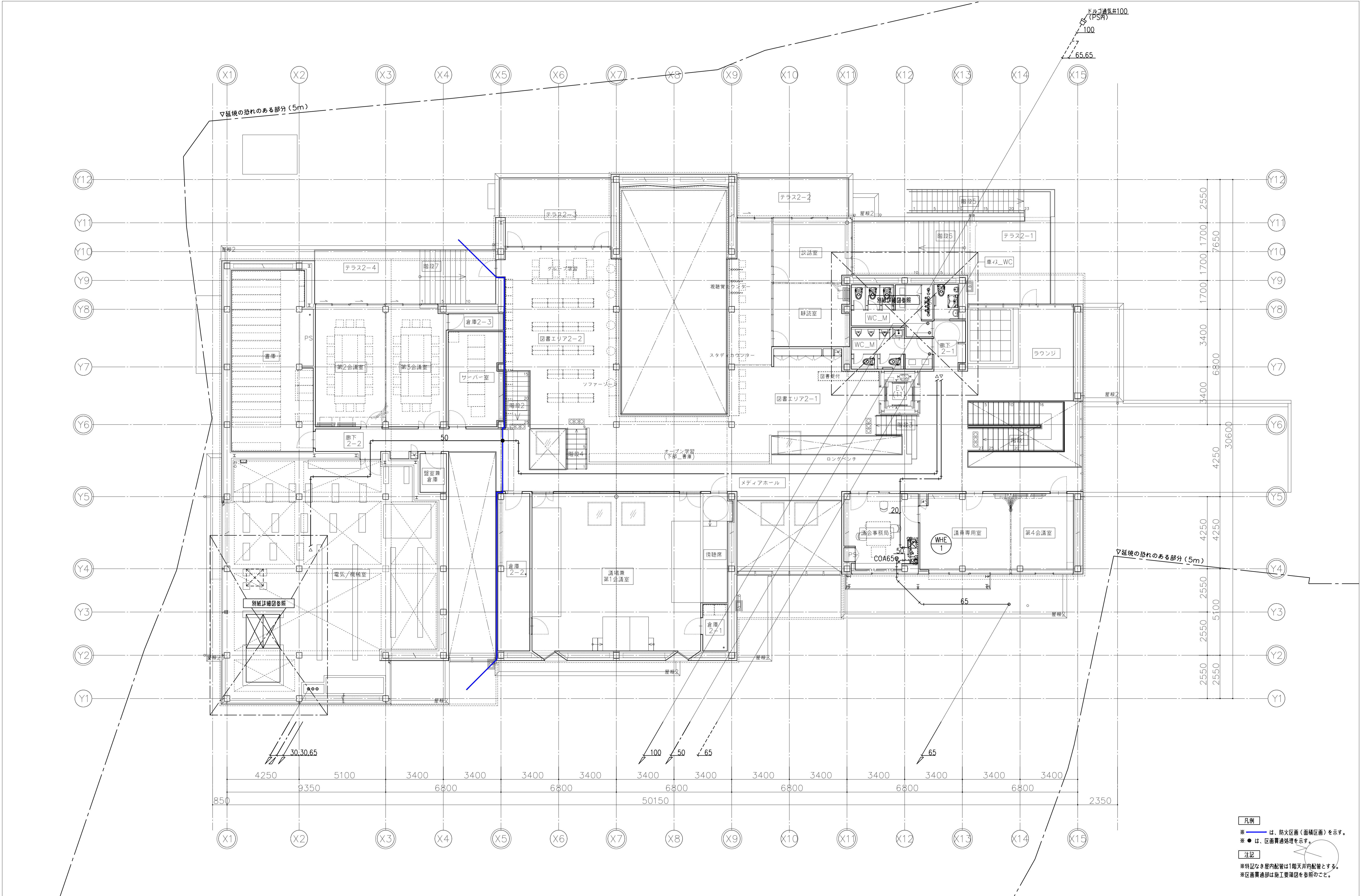
注記

特記なき屋外配管は土中配管とする。

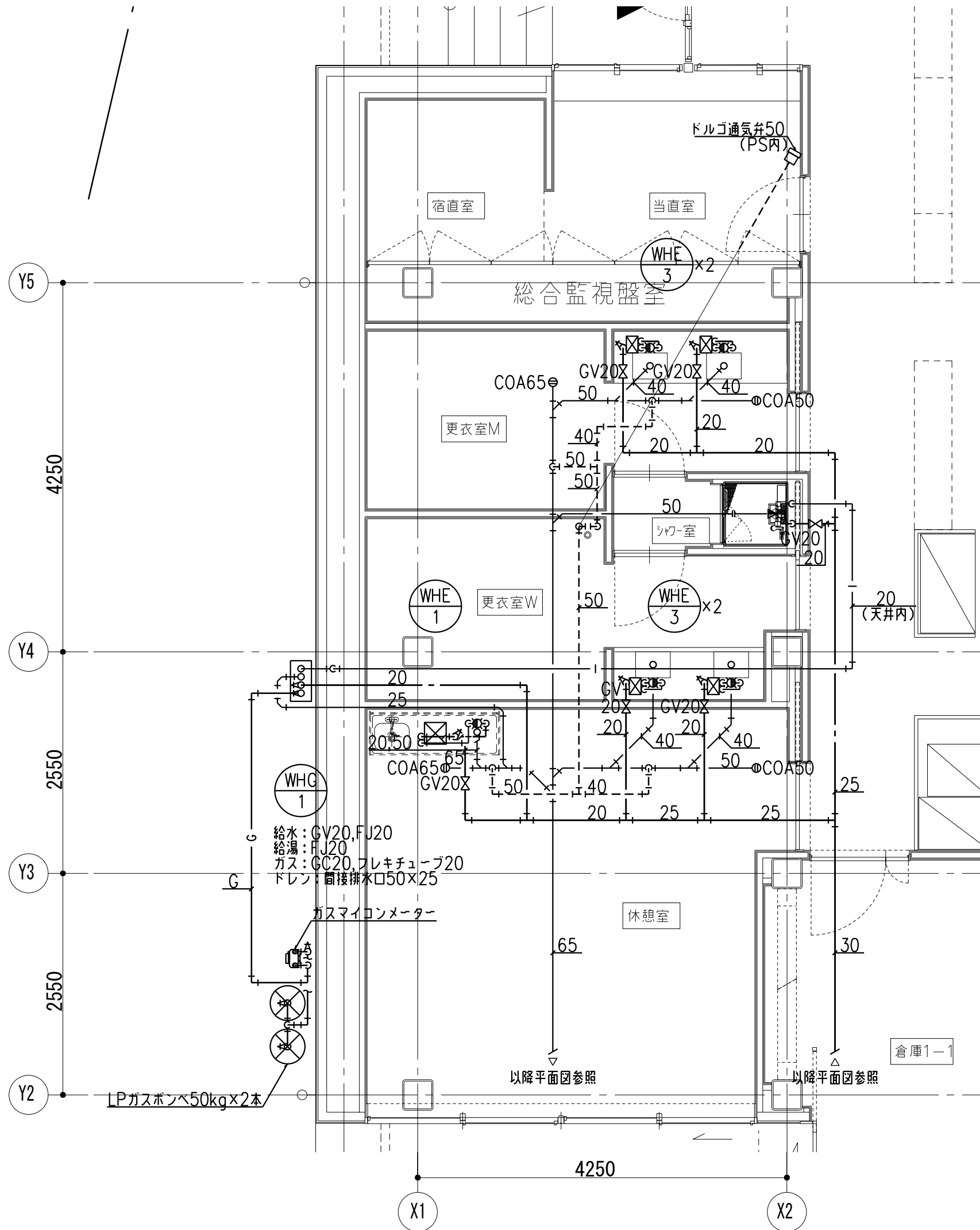
工事名称 東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	日付	区分 機械設備	図面番号 M-204
図面名称 給排水衛生設備 配置図	1/300 (A1) 1/600 (A3)			



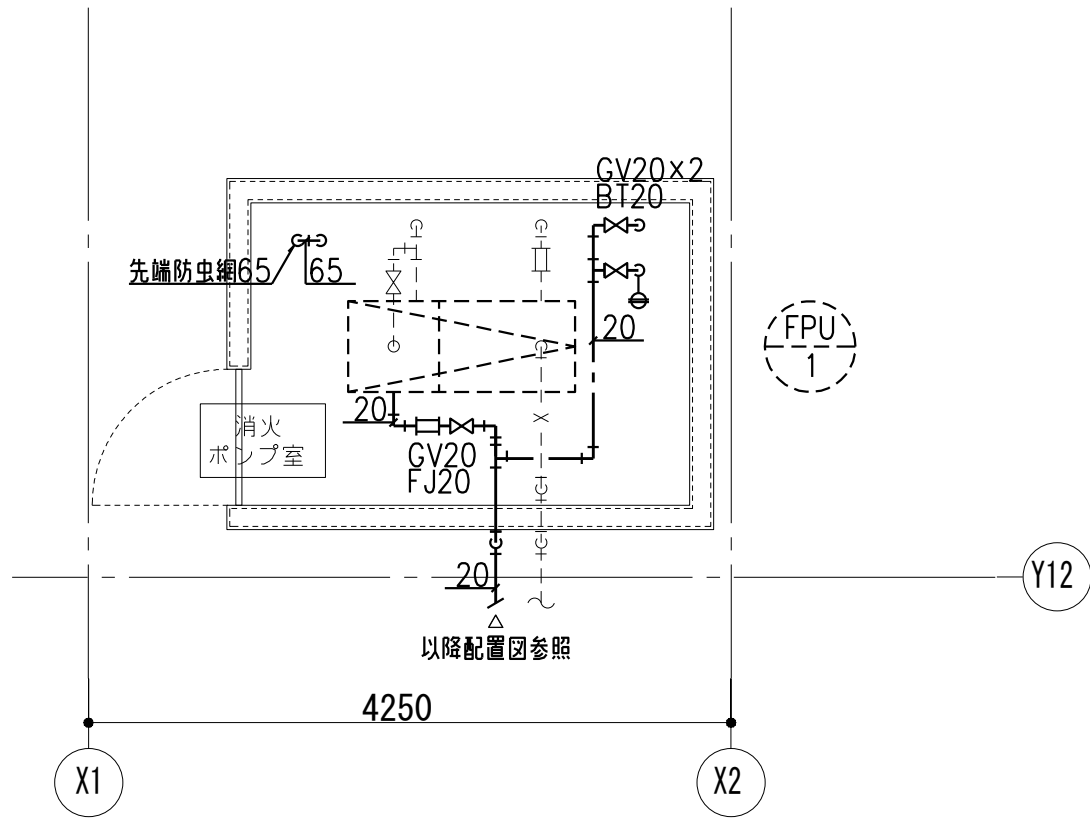
特記	工事名称	東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	日付	区分	図面番号
	図面名称	給排水衛生設備 1階平面図				
			1/100 (A1)		機械設備	M-205
			1/200 (A3)			



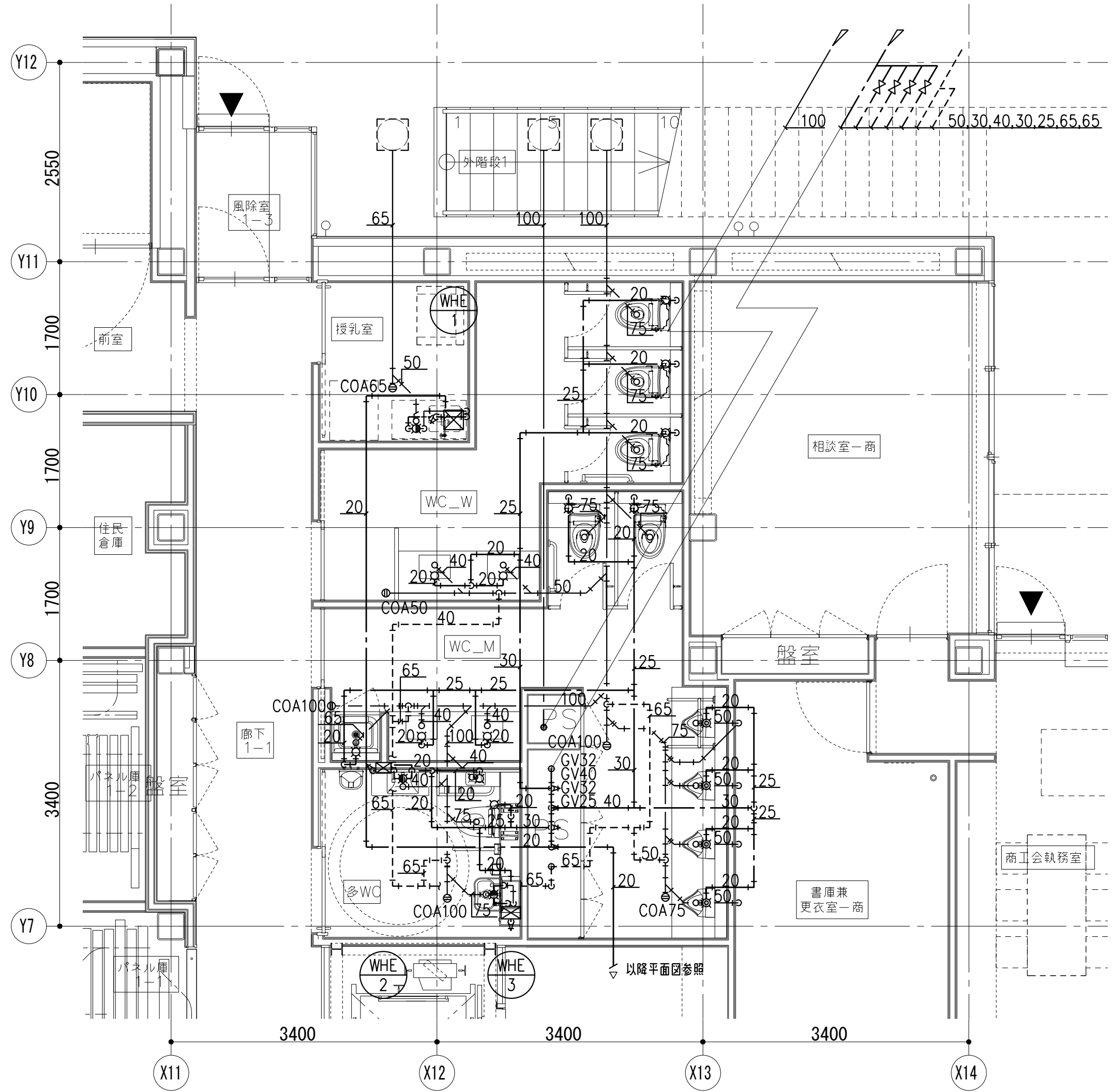
特記	工事名称	東秩父村新庁舎建設工事	図面尺度	日付	区分	図面番号
	図面名称	給排水衛生設備 2階平面図				
			1/100 (A1)		機械設備	M-206



1階 更衣室廻り詳細図 S=1/50
※特記なき屋内配管はピット内配管とする

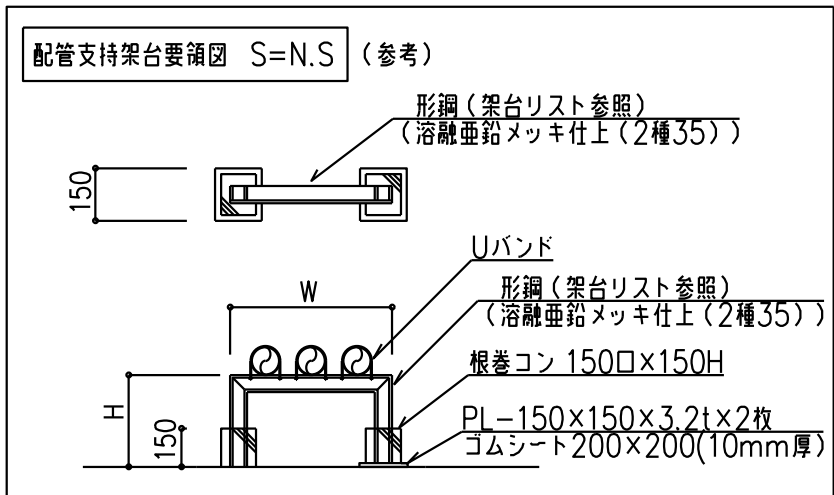


1階 消火ポンプ室詳細図 S=1/50
※特記なき配管は露出配管とする

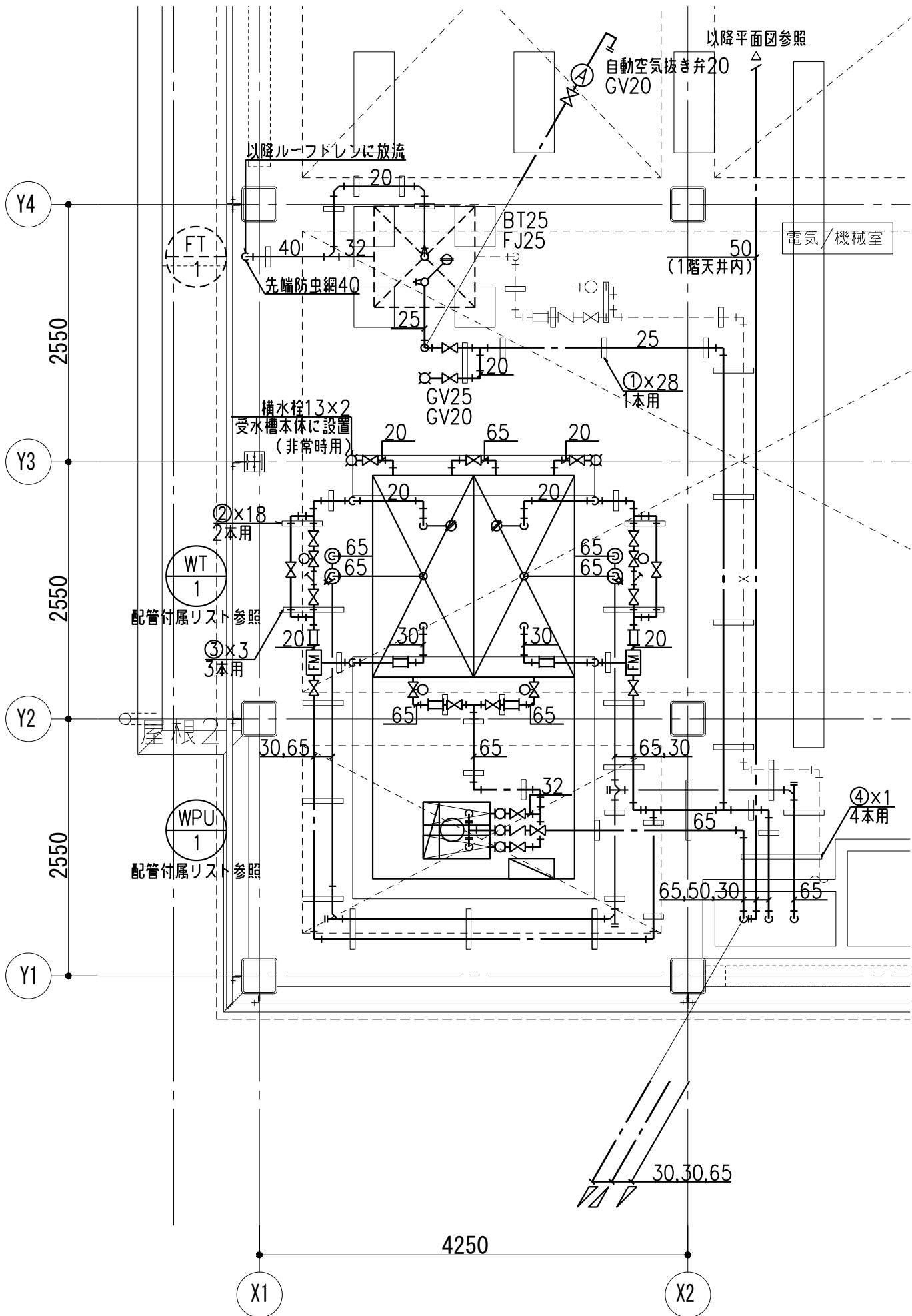


1階 トイレ廻り詳細図 S=1/50
※特記なき配管はピット内配管とする

		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事	1/50 (A1)			
			図面名称	1/100 (A3)		機械設備	M-207
			給排水衛生設備 平面詳細図 (1)				



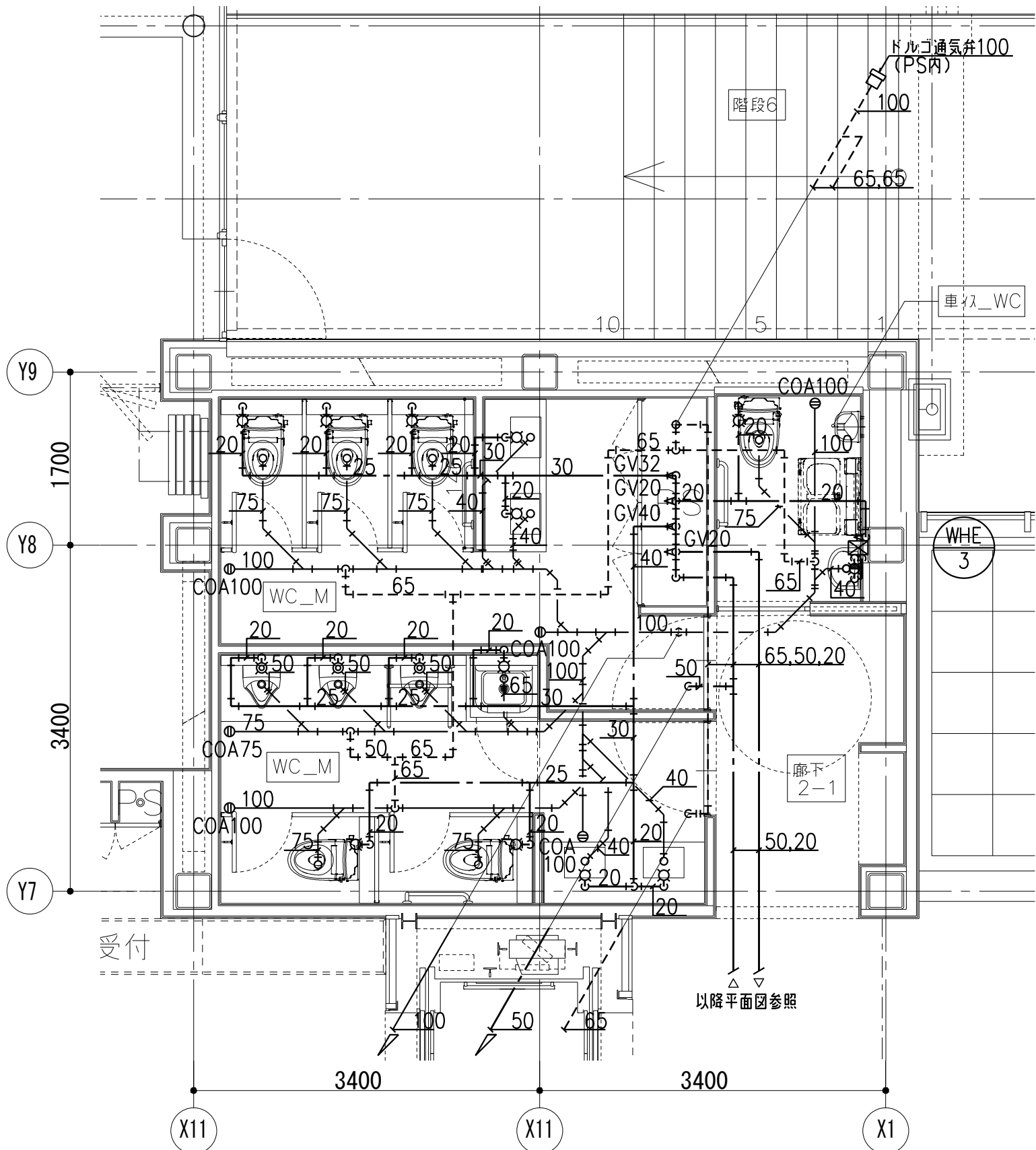
記号	備要	架台寸法		形鋼仕様	備取
		W (mm)	H (mm)		
①	1段 1本用	200	500	L-65×65×5t	28
②	1段 2本用	400	500	L-65×65×5t	18
③	1段 3本用	600	500	L-65×65×5t	3
④	1段 4本用	800	500	L-65×65×5t	1



2階 受水槽詳細図 S=1/50
※特記なき配管は露出配管とする

WT-1		
給水	GV (10K) 32	2
流入側	FJ32	2
	FJ20	2
	電磁弁装置20	2
	定水位弁32	2
	Y形ストレーナ20	2
	ボールタップ20	2
給水	BV65	2
流出側	FJ65	2
	緊急遮断弁装置65	2
	(緊急弁制御盤含む)	
給水	BV65	1
連通管		
給水	GV20+横水柱	2
非常時用水柱		
排水	GV (5K) 65	2
	防虫網65	4
	直接排水口125×65	4

WPU-1		
給水	GV (10K) 32	2
流入側	防塵継手32	2
給水	BV65	1
吐出側	CV65	1
	防塵継手65	1



2階 トイレ廻り詳細図 S=1/50
※特記なき配管は1階天井内配管とする

特記

工事名称
東秩父村新庁舎建設工事

図面名称
給排水衛生設備 平面詳細図 (2)

図面尺度

1/50 (A1)
1/100 (A3)

日付

区分

機械設備

図面番号

M-208

消 火 設 備 機 器 表

記 号	機 器 名	台数	機 器 仕 様	電 力 量 50Hz(参考)			起 動	非 常 電 源	設 置 場 所		備 考
				φ	V	kW			階	室 名	
FPU-1	屋内消火栓用ポンプユニット	1	型 式 :屋内消火栓ポンプユニット(消防認定品)						1	消火ポンプ室	コンクリート基礎(建築工事)
			制 御 盤 :ELB、外部警報端子、力率改善リアクトル、ノイズフィルター、 始動リレーボックス収納スペース								消火ポンプ制御盤からの移報 (電気設備工事)
			能 力 :50φ×50φ×180L／min×50m	3	200	3.7	L-S	○			
			耐 震 :1.0G								
			付 属 品 :制御盤(外部警報端子付)、呼水槽、圧力チャンパー、架台、フート弁 水温上昇防止用逃し装置、性能試験装置バルブ、他標準付属品一式								
FT-1	消火用充水槽	1	型 式 :SUS製一体型(角型)	-	-	-	-	-	2	電気／機械室	コンクリート基礎(建築工事)
			容 量 :0.3m3(有効)								
			参考寸法 :0.8(W)×0.8(D)×1.1(H)								
			耐 震 :2.0G								
			付 属 品 :架台(溶融垂鉛メッキ、1500H)、 電極座×1組(電極棒3P×1組) マンホール蓋(鍵付／350φ)×1、防虫網付通気口×1 SUS製組立ボルト、SUS製アンカーボルト、他標準付属品一式								
HB-1	屋内消火栓箱	4	型 式 :広範囲型2号消火栓(埋込総合型、銅板製、消火器組込型)	1	100	-	-	○	1	執務エリア1-2(1箇所)	指定色仕上げ
			参考寸法 :1.1(W)×0.2(D)×1.4(H)						1	コミュニティホール(1箇所)	消火器別途(備品対応)
			付 属 品 :消火栓30A(回転式・減圧弁付)、ホース30A×30m×1本						2	廊下2-2(1箇所)	
			噴霧切替ノズル、リング型表示灯、発信機、他標準付属品一式						2	廊下2-1(1箇所)	

特記事項

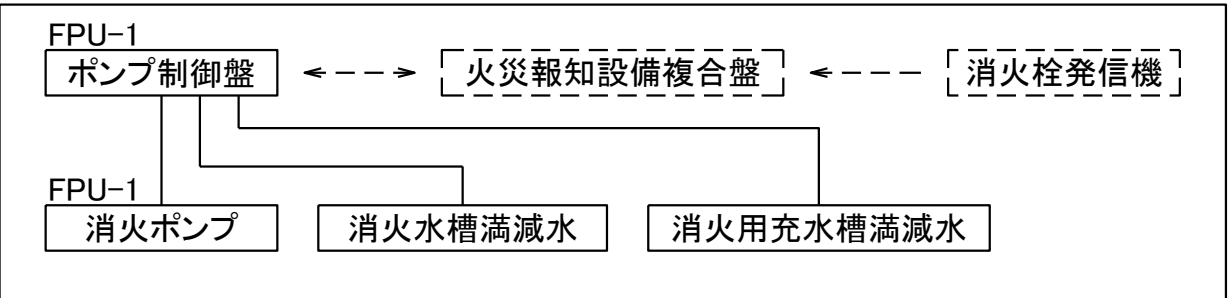
1. 電気容量(消費電力)は参考値とする。
2. 標準付属品共とする。

3. 警報の範囲は備考欄により、移報先は火災報知設備複合盤(電気設備工事)とする。
また、警報に係わる配管配線は電気設備工事とする。

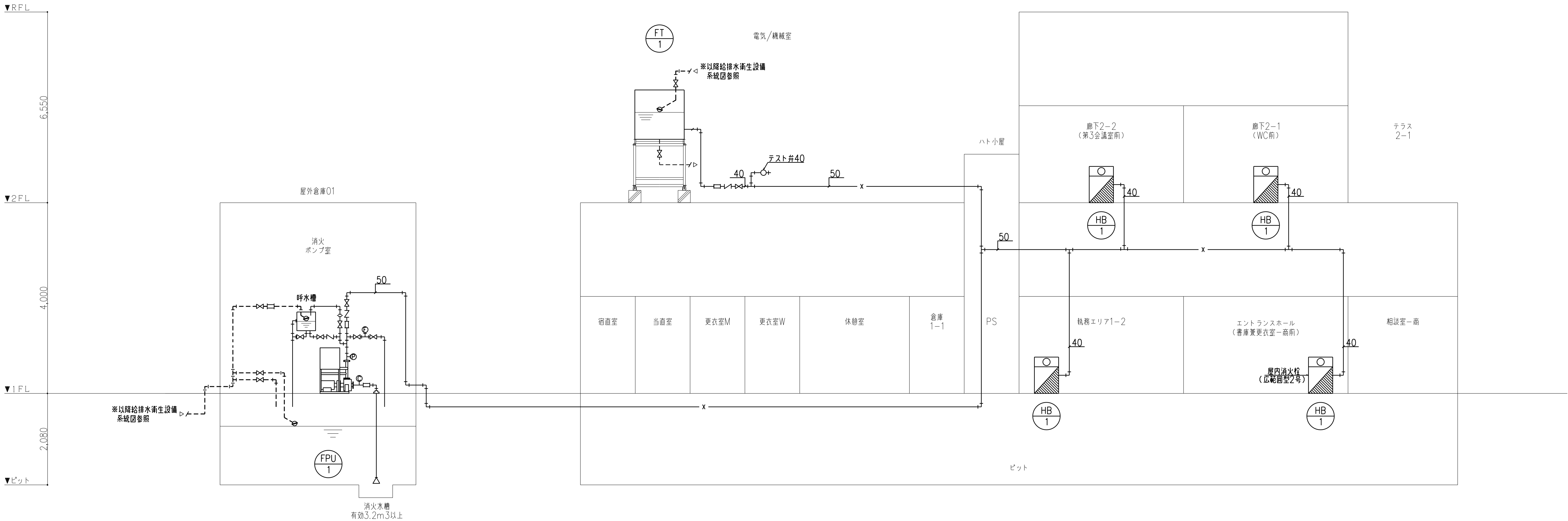
ポンプ揚水量	
屋内消火栓設備	2台同時放水
(広範囲型2号)	2台同時 × 90L/min =180L/min

水源容量	
屋内消火栓設備	2台同時放水 × 1.6m3 = 3.2m3
(広範囲型2号)	有効 3.2m3 以上

消火設備警報概念図



※各機器間の移報に係わる破線部の配管配線は電気設備工事とする。



系統図

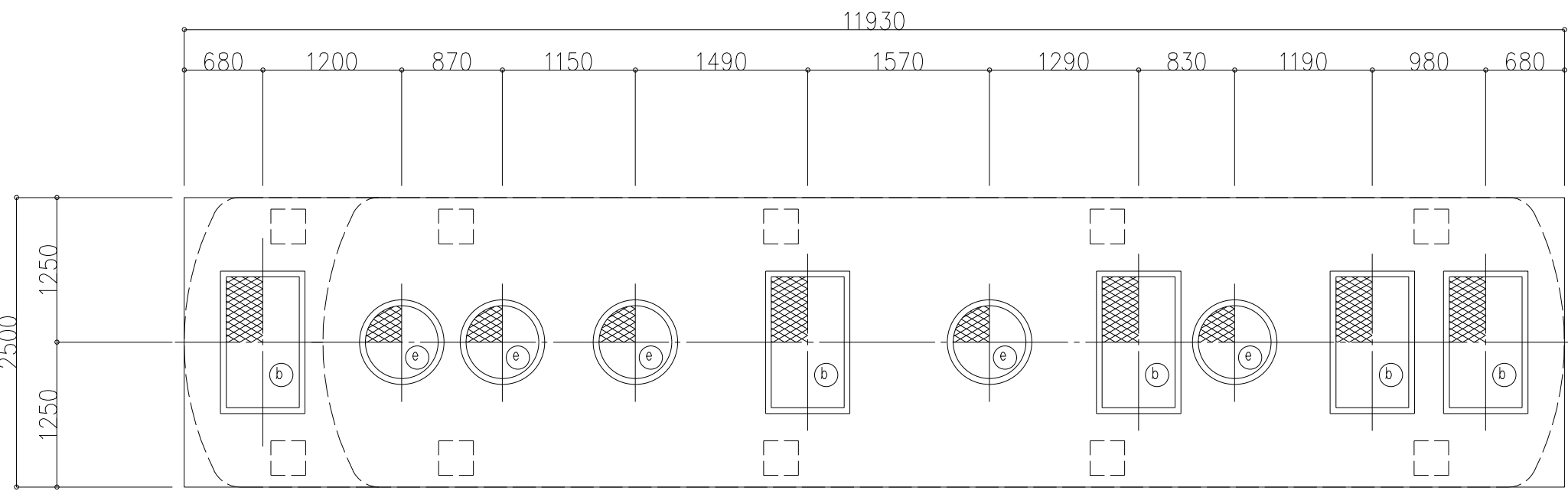
注記

※各配管、ダクト共に1F屋内ひろば・ステージの保温外装は屋内露出仕様とし、それ以外の仮想天井（スリット天井）内の保温外装は天井内仕様とする。

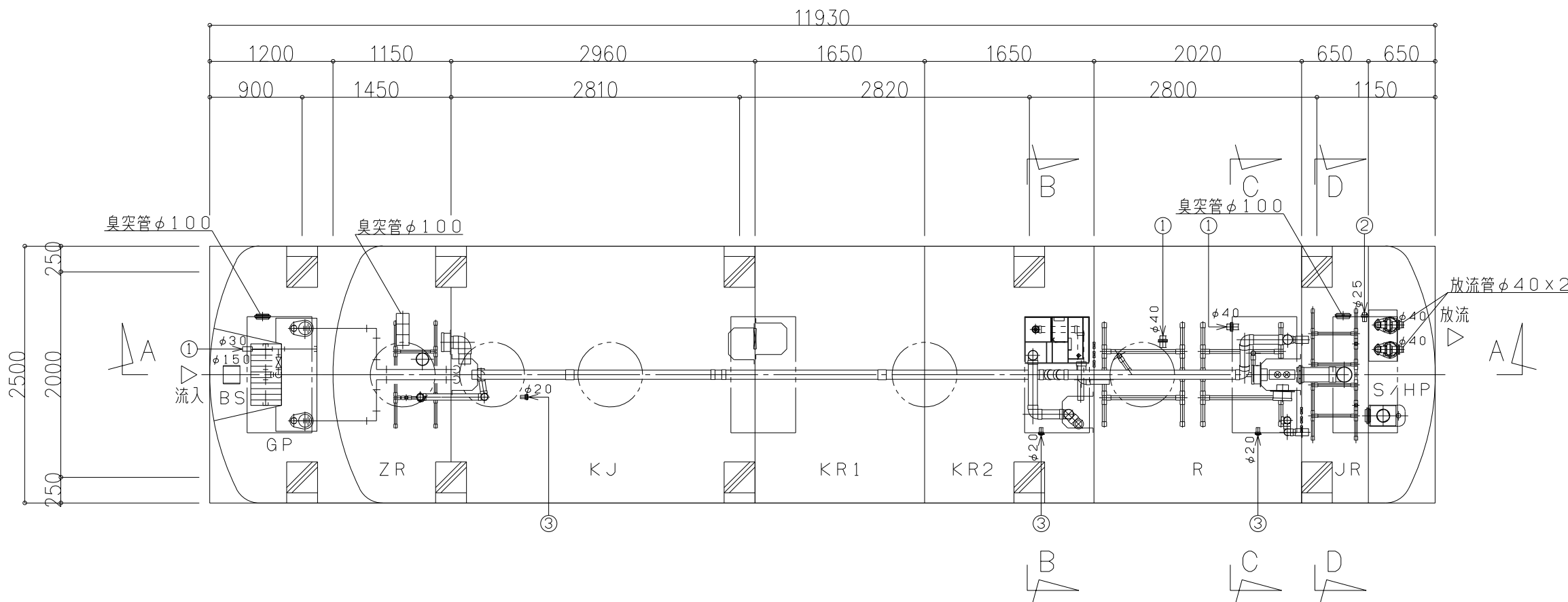
		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事			機械設備	M-210
			図面名称				
			消火設備 系統図				



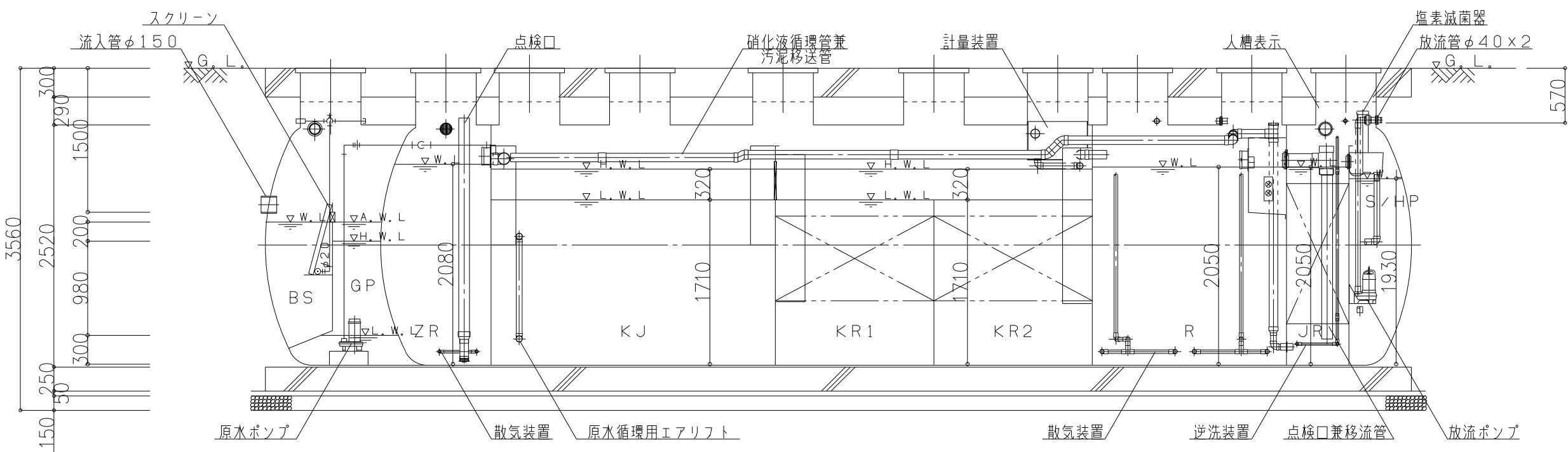
		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事	1/100 (A1)		機械設備	M-211
			図面名称	1/200 (A3)			
			消火設備 1階平面図				



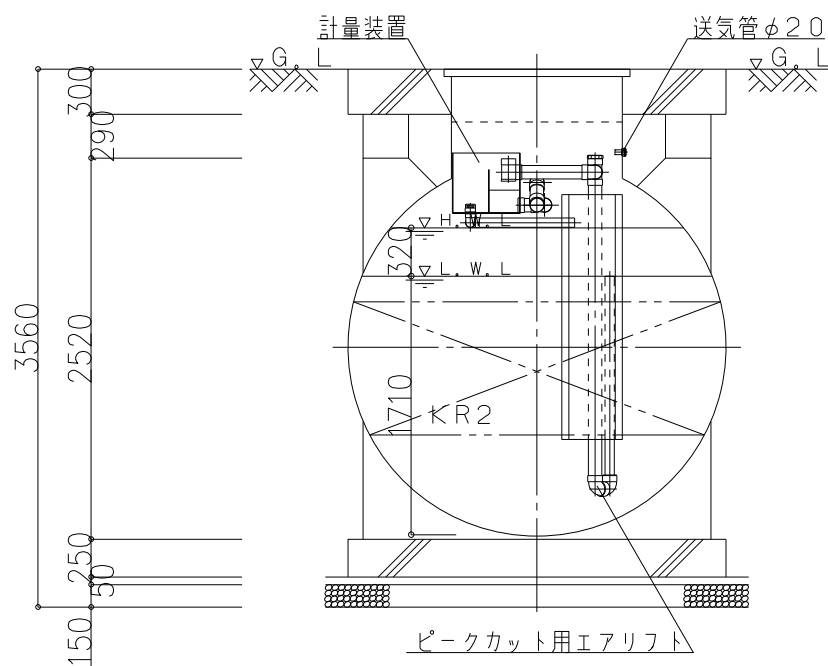
スラブ平面図 1/50



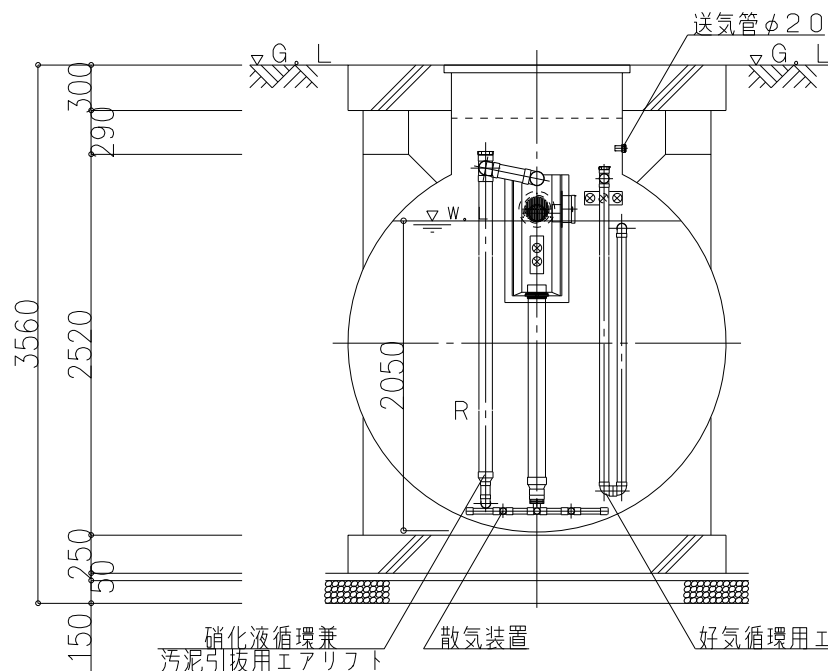
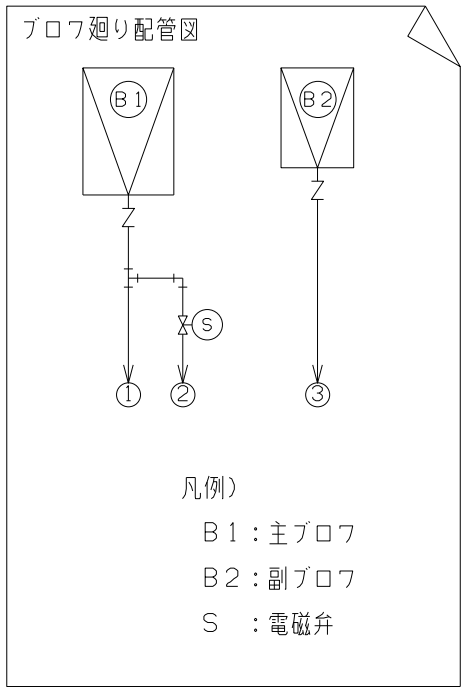
内部平面図 1/50



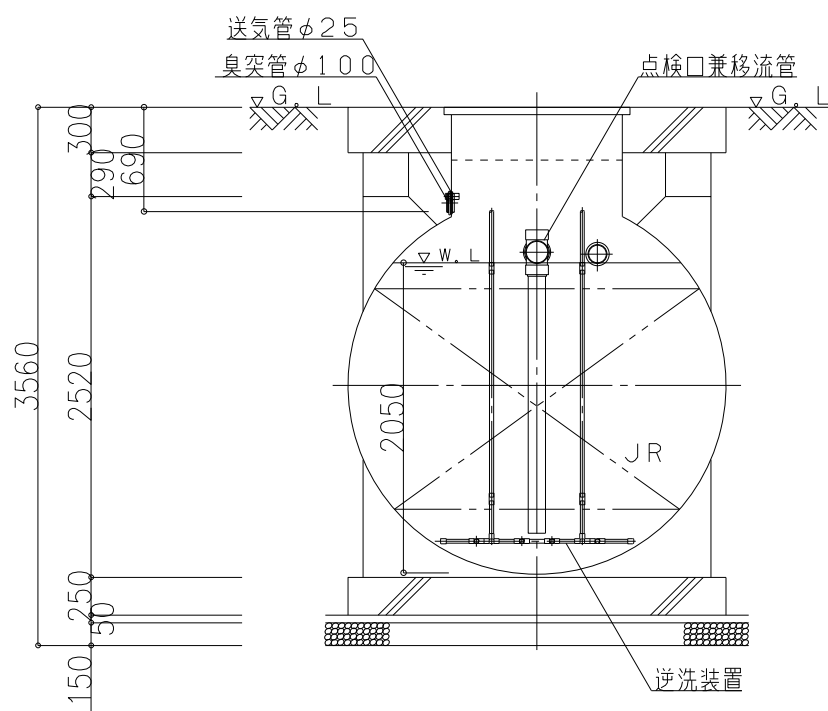
A-A断面図 1/50



B-B断面図 1/50



C-C断面図 1/50



D-D断面図 1/50

流入水質		放流水質	
BOD	200 mg/L	BOD	20 mg/L
T-N	70 mg/L	T-N	- mg/L

仕 様 表	
設計番号	TKB8132A
処理方式	縫気ろ床担体流動循環ろ過方式
型式名称	フジクリンプラント PCN?-130C型 (PNA112)
処理対象人員	130人
計画汚水量	22.3m ³ (排水時間 8時間)
機器名称	仕様
主プロフ	32A×0.75kW×0.77m3/min×1台
副プロフ	25A×0.75kW×0.45m3/min×1台
原水ポンプ	50A×0.25kW×0.14m3/min×2台
放流ポンプ	40A×0.25kW×0.14m3/min×2台
土壤脱臭ファン	0.40kW

容 積 表		
記号	槽名称	実有効容量
BS	ばっ気型スクリーン	0.60m ³
GP	原水ポンプ槽	1.94m ³
ZR	前置担体流動槽	4.05m ³
KJ	夾雑物除去槽	12.07m ³
KR1	縫気濾床槽第1室	6.97m ³
KR2	縫気濾床槽第2室	6.67m ³
R	担体流動槽	8.62m ³
JR	循環濾過槽	2.47m ³
S/HP	消毒槽兼放流ポンプ槽	0.92m ³ /0.99m ³

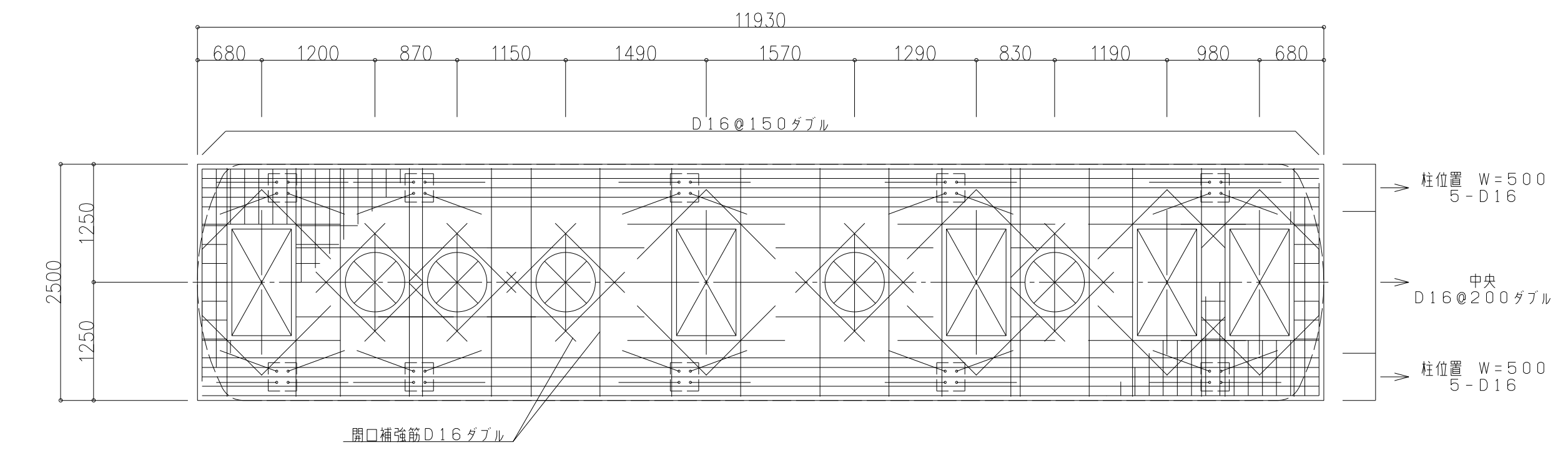
開 口 蓋 一 覧 表			
記号	呼称寸法	数量	仕様 材質
b	700×1200	5	5000K 蓋：鋳鉄、枠：SS
e	φ600	5	5000K 蓋：鋳鉄、枠：鋳鉄

配 管 仕 様 表	
露出配管（プロフ回り）	SGP
土中配管	φ65以下～VP・φ75以上～VU
槽内配管	メーカー仕様

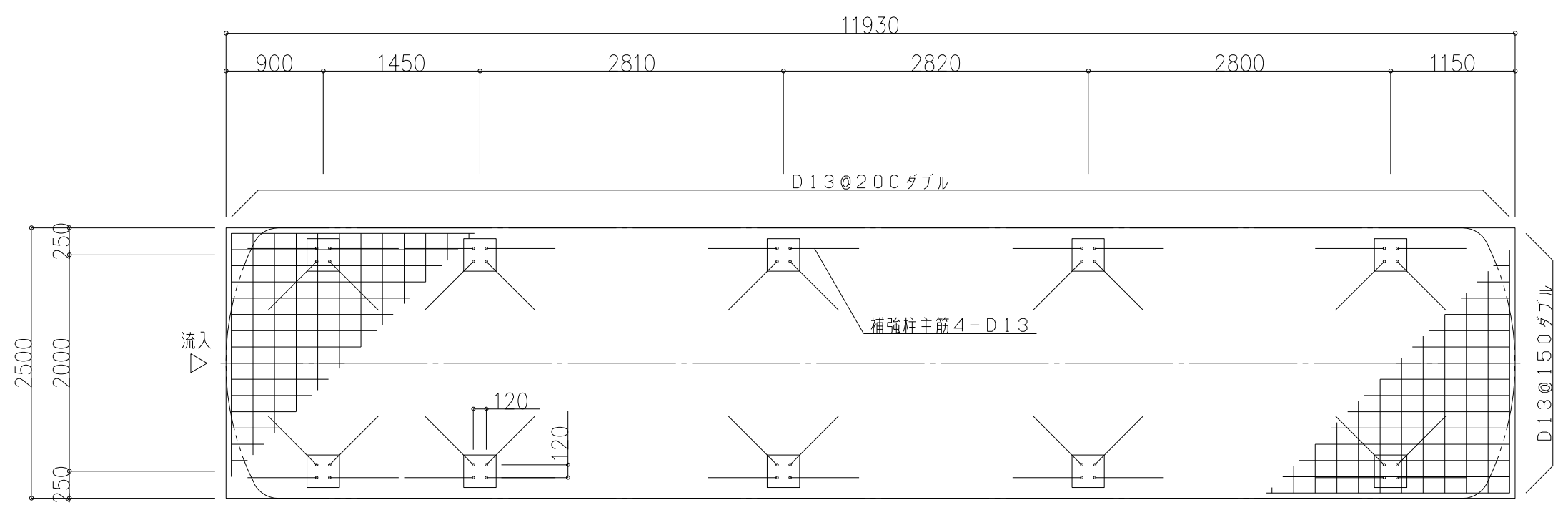
- 注1) 上部はT-20荷重とする。
- 注2) 機器電源は三相200V、総電力は3.1kW（脱臭ファン0.4kW含む）とする。
- 注3) 図中の「G、L」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注4) 浄化槽からプロフまでの距離は30m以内とする。
- 注5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注6) 臭気工事は浄化槽～ファン～脱臭装置を本工事とする。
- 注7) 電気工事は二次側（浄化槽制御盤以降）を浄化槽工事とする。
- 一次側（電源引き込み、アース引き込み）は浄化槽工事範囲外とする。
- 注8) 外部警報接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注9) 本設計条件における必要地耐力は56kN/m²以上必要とする。
- （実際の工事業者が確認後施工の事）
- 注10) 岩掘削工事、杭工事、地盤改良工事、ウェルポイント工事、地盤調査は別途とする。
- 注11) 工事用水道使用料金（水取用水費）、工事用仮設電源は別途とする。
- 注12) 埋め戻しは良質土にて行うこと。
- 注13) 散水柱13mm以上を5m以内に設置のこと。設置工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注14) 外構工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注15) 現状嵩上げ高さ：300mm、最高嵩上げ高さ：300mmまで
- 注16) 下記条件の場合は、浄化槽本体を補強仕様に変更する必要があります。
- （実際の工事業者が確認後施工の事）
- ・嵩上げ高さが300mmを超える場合
 - ・地下水位がGL-1000mmより高い場合
- 注17) 荷重影響線内に注1を超える荷重がある場合、機架の設置等が必要になります。

槽本体寸法・吊上目安重量
構型槽1 φ2500×11930L 目安重量：5770kg

		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事	1/ 50 (A1)		機械設備	M-213
			図面名称	1/100 (A3)			
			合併浄化槽設備 仕様表・構造図				



スラブ配筋図 1/50

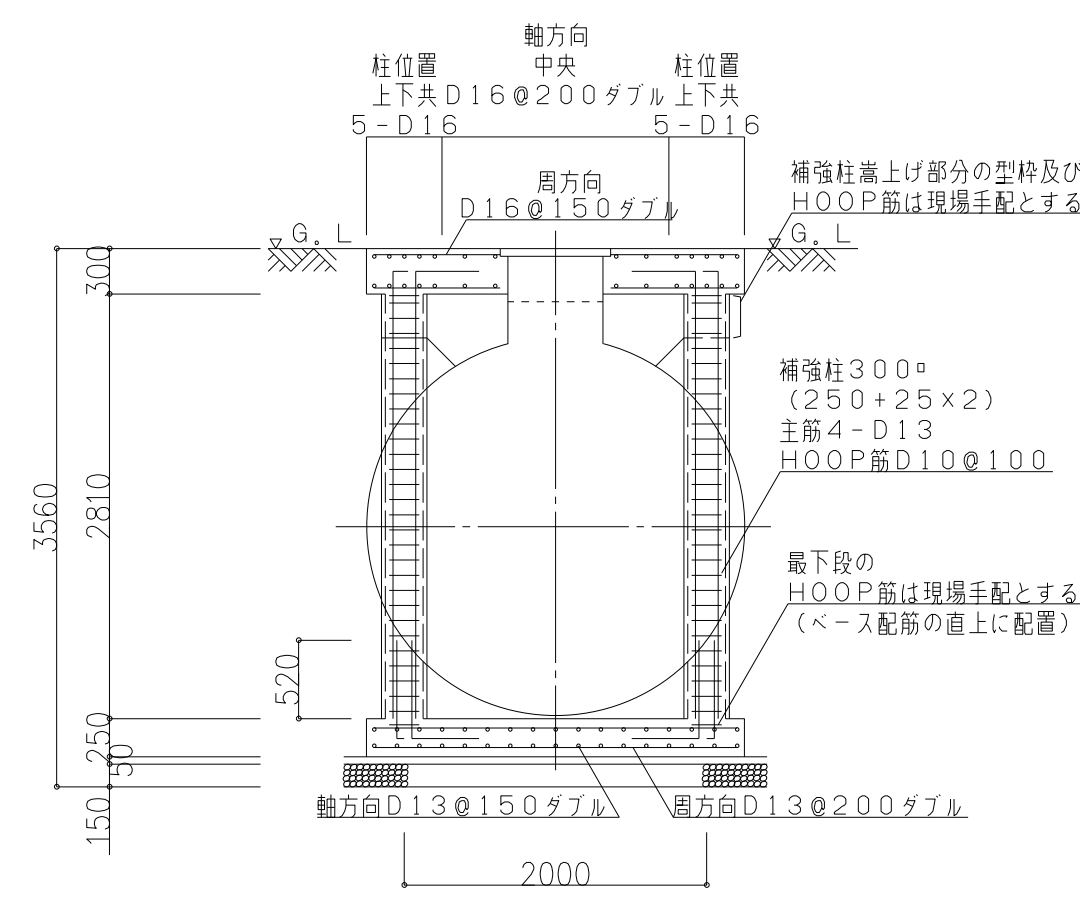


ベース配筋図 1/50

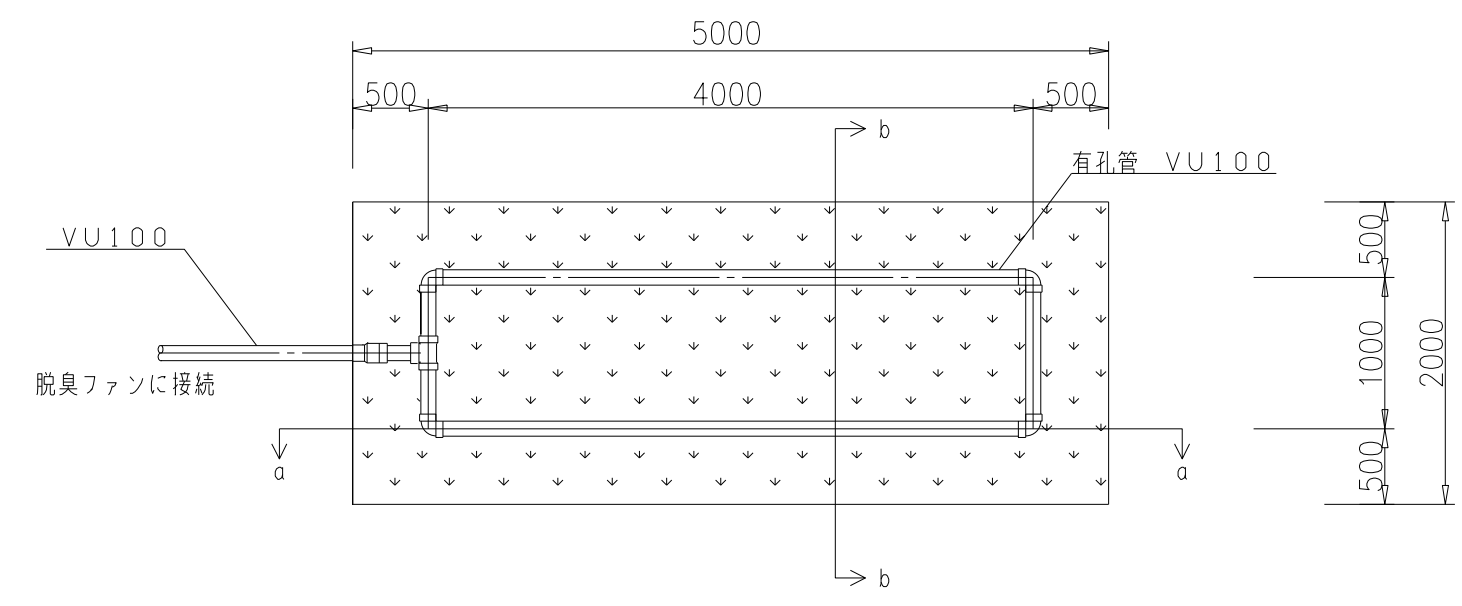
TKB8132A

一 般 事 項	
コンクリート	$F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
鉄 筋	SD295A
鉄筋かぶり	スラブ 40
	ベース 60
定着及継手	40d
地 業	砕石又はRC 40～0

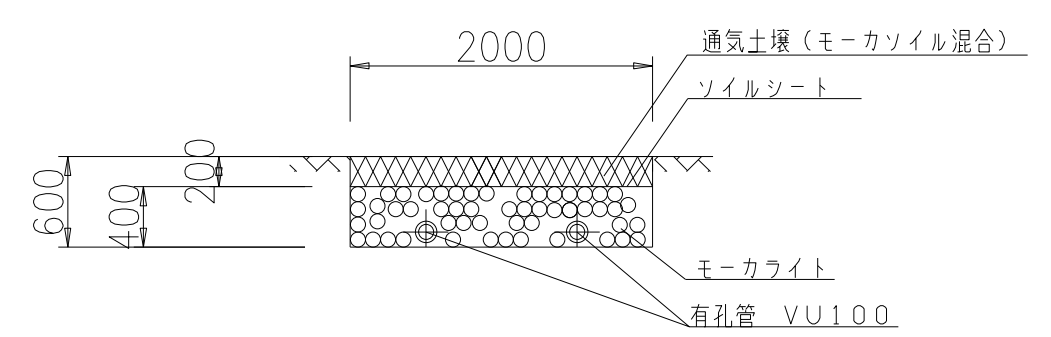
注1) 上部はT-20荷重とする。
注2) 図中の「G、L」は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
注3) 本設計条件における必要地耐力は56kN/m²とする。
(実際の工事業者が確認後施工の事)
注4) 現状嵩上げ高さ: 300mm、最高嵩上げ高さ: 300mmまで



横型槽断面配筋図 1/50

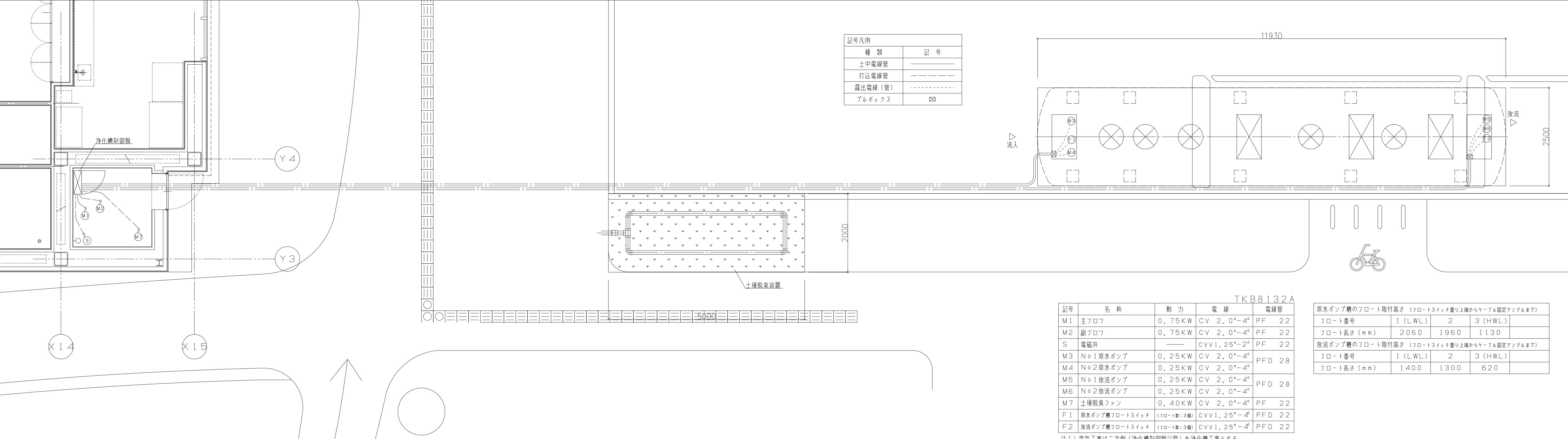


a-a断面図 1/50

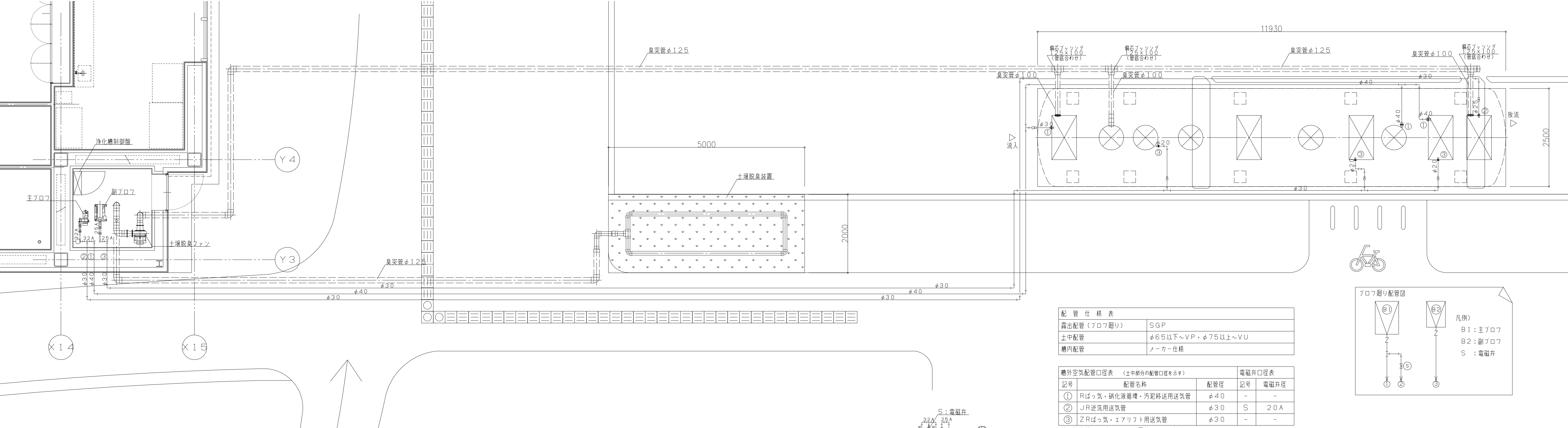


b-b断面図 1/50

		特記	工事名称	図面尺度	日付	区分	図面番号
			東秩父村新庁舎建設工事	1/ 50 (A1)		機械設備	M-214
			図面名称				
			合併浄化槽設備 配筋図・土壌脱臭図	1/100 (A3)			

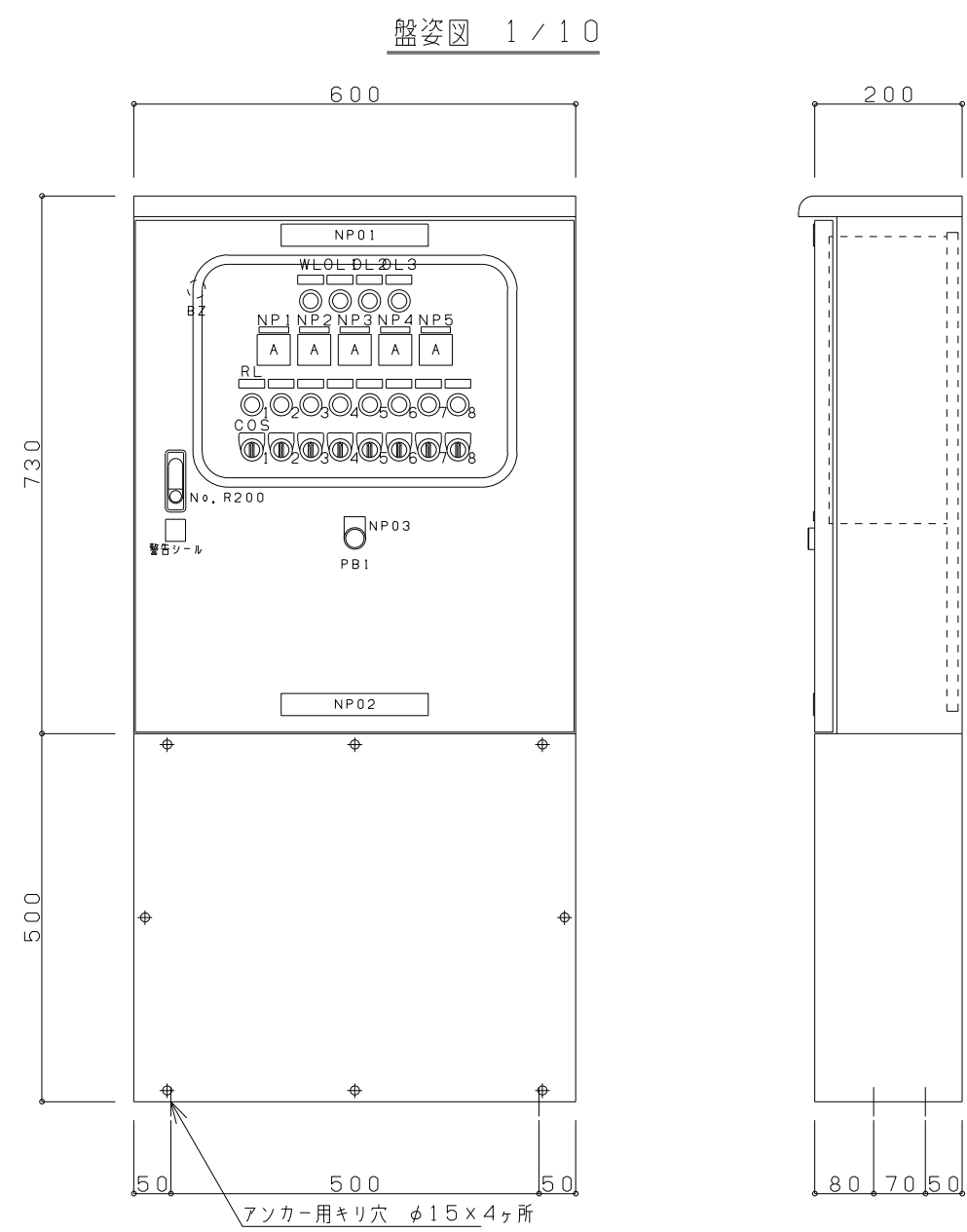
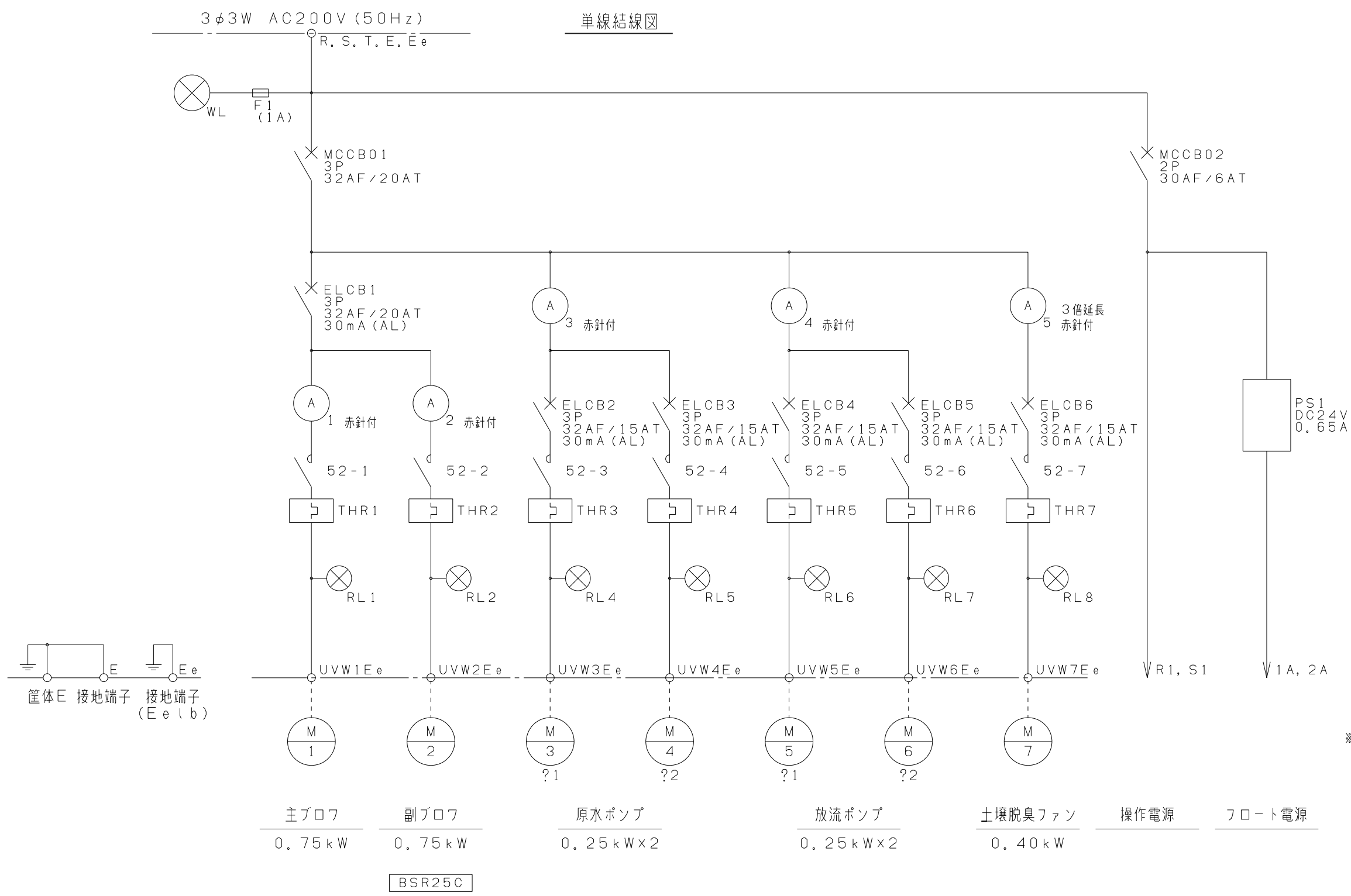


電気配管図 1 / 50



空気配管図 1 / 50

プロフ基礎断面参考図 1 / 50



制御盤仕様

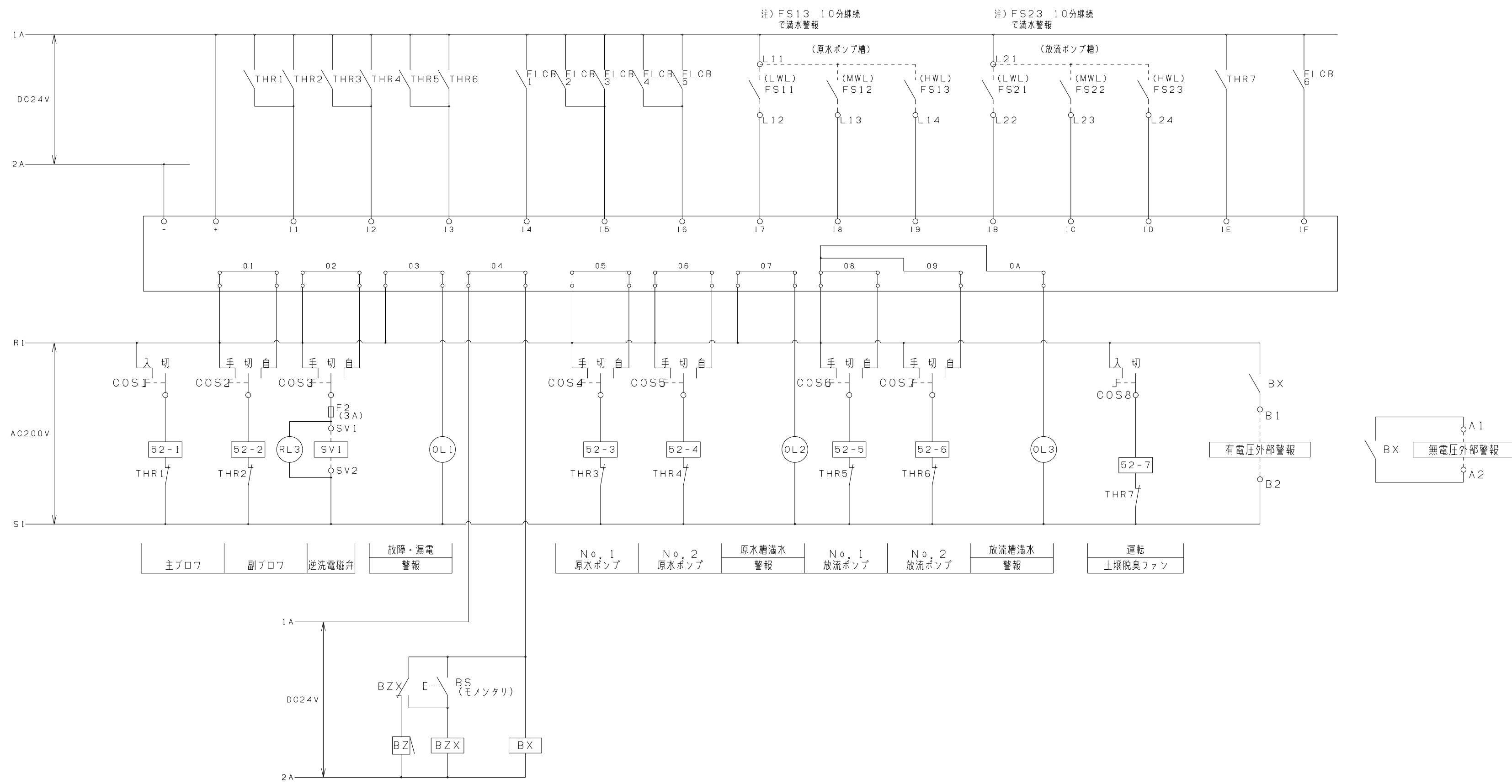
設計番号	TKB8132A
型 式	MRPCN206 (GHP) -SV1-EN-OP
構 造	水切、防水・防塵構造
板 厚	本体 1.6t (中板 2.3t) 扉 1.6t
塗 装	外面 マンセル5Y7/1 内面 マンセル5Y7/1

注) ファンは白熱球とする。

銘板表

記 号	名 称
NP 01	浄化槽制御盤
NP 02	フジクリーン工業株式会社
NP 03	ブザー停止
NP 1	主プロフ
NP 2	副プロフ
NP 3	原水ポンプ
NP 4	放流ポンプ
NP 5	土壌脱臭ファン

操作回路図



特記

工事名称

東秩父村新庁舎建設工事

図面名称
合併浄化槽設備 制御盤図

図面尺度

日付

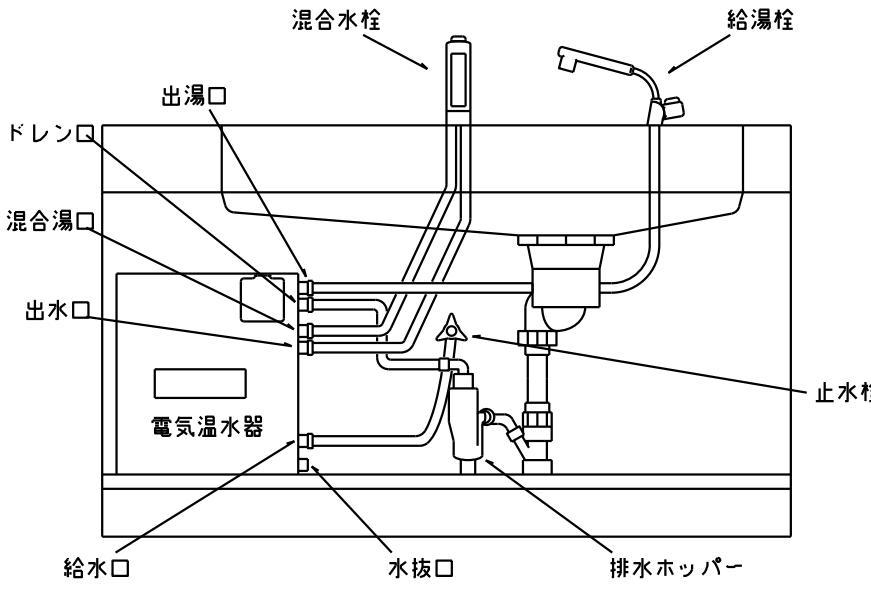
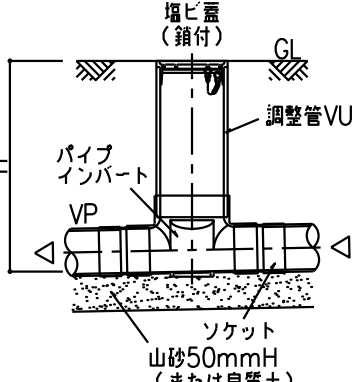
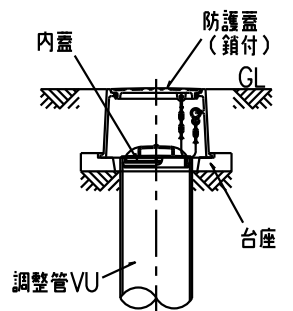
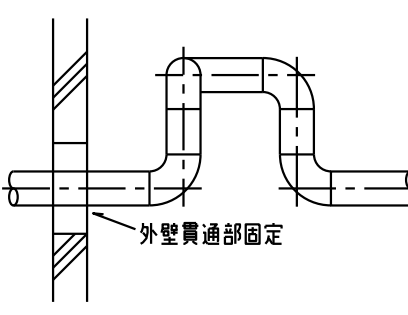
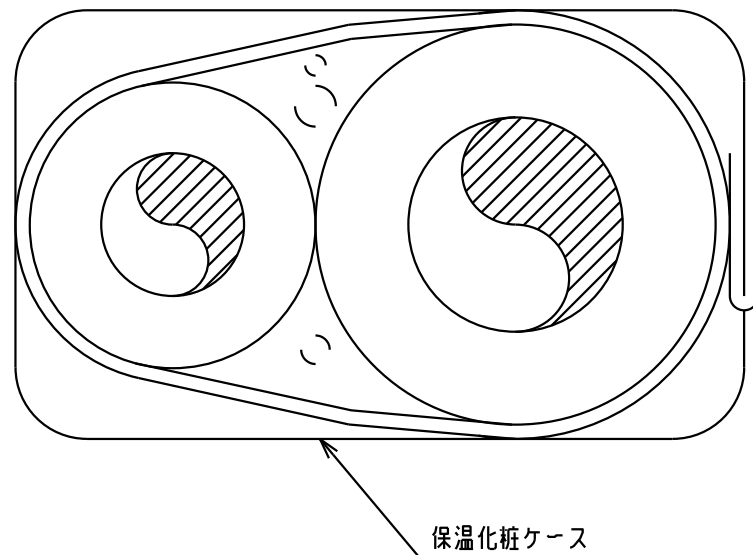
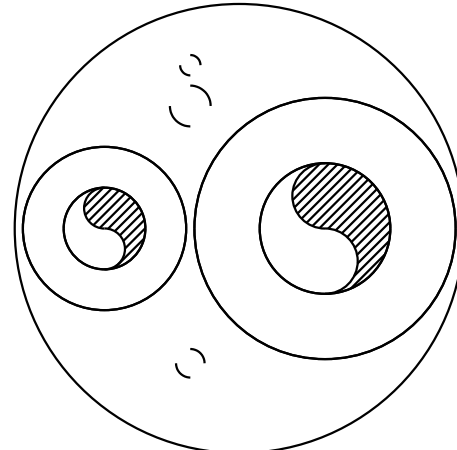
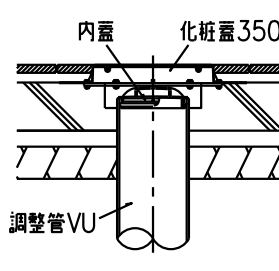
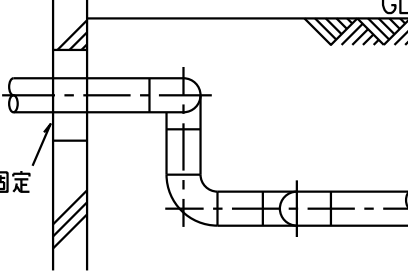
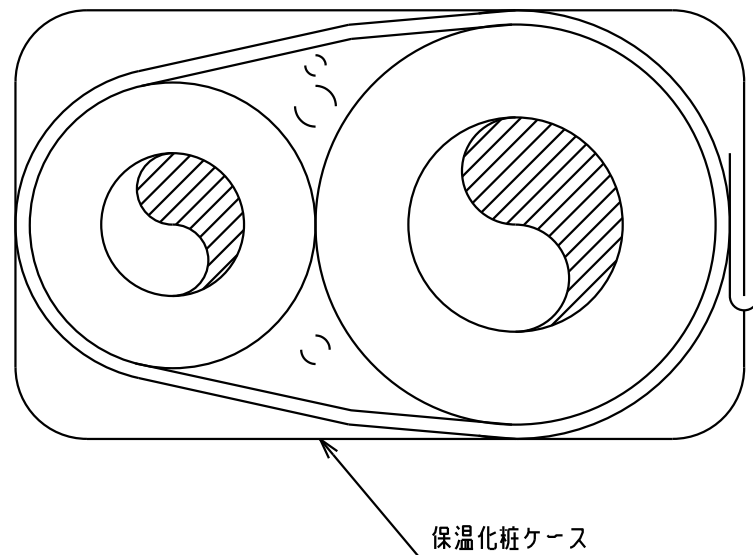
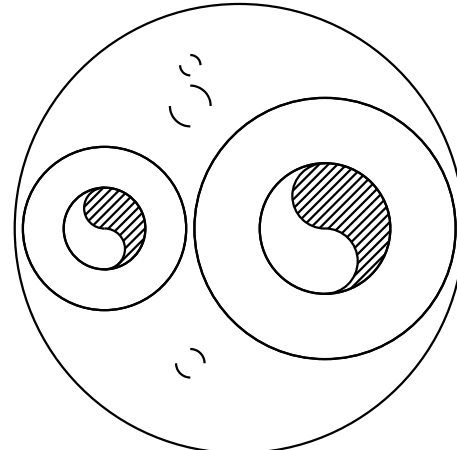
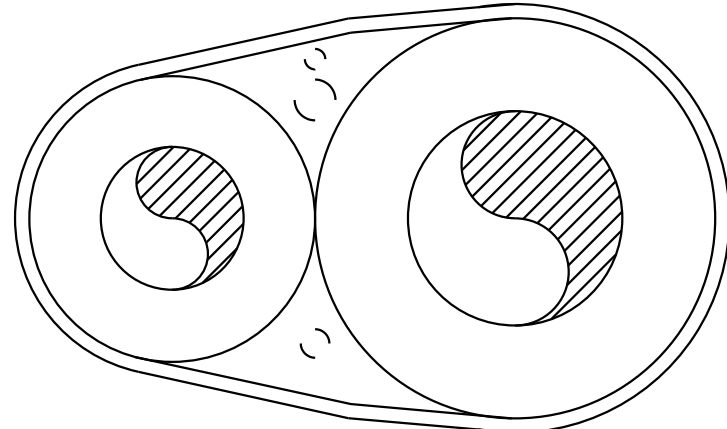
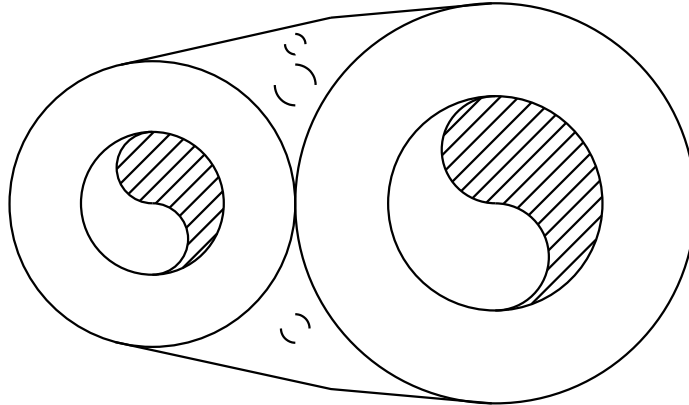
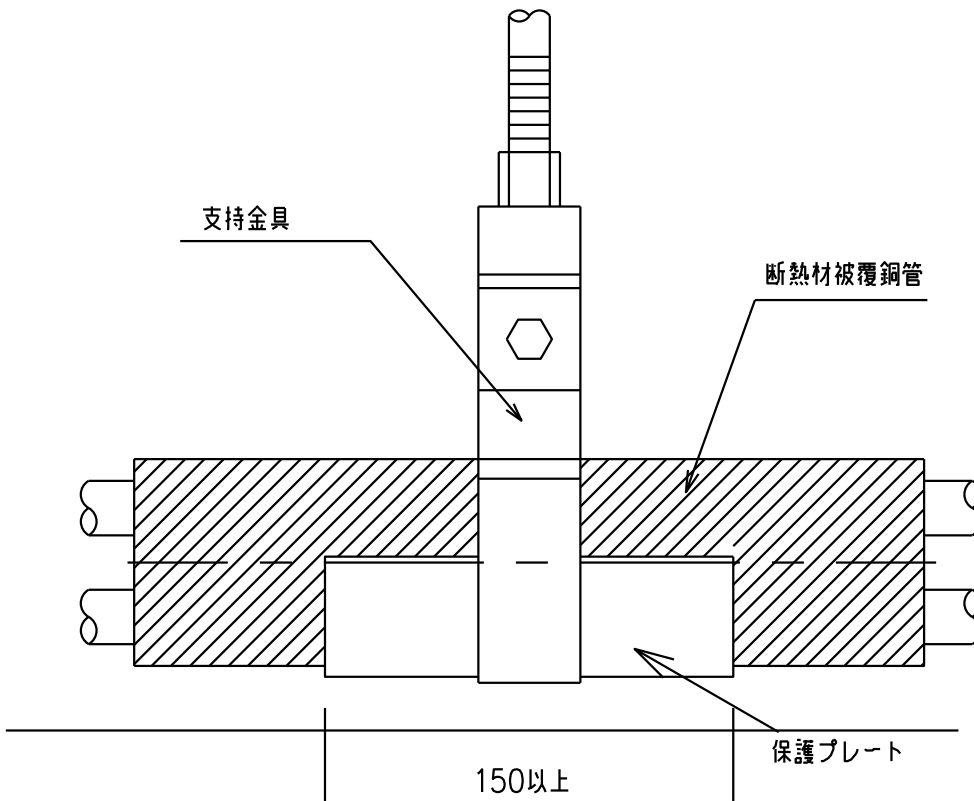
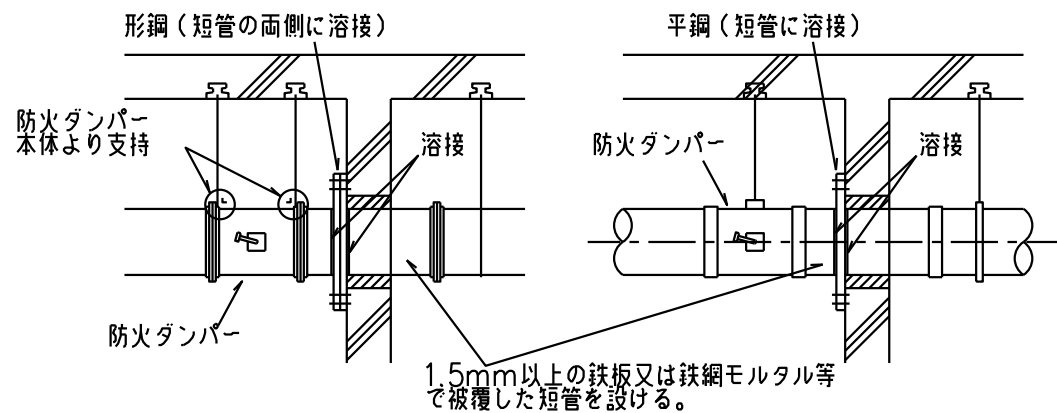
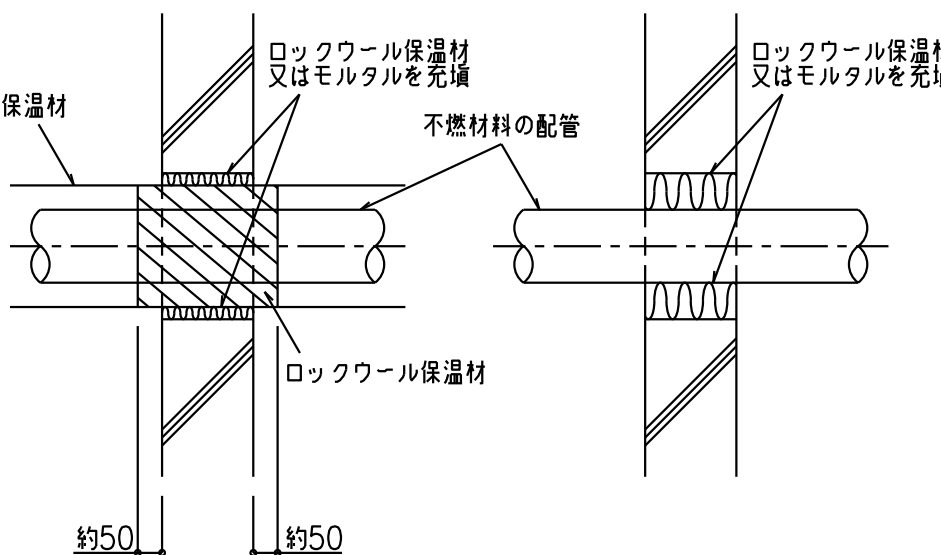
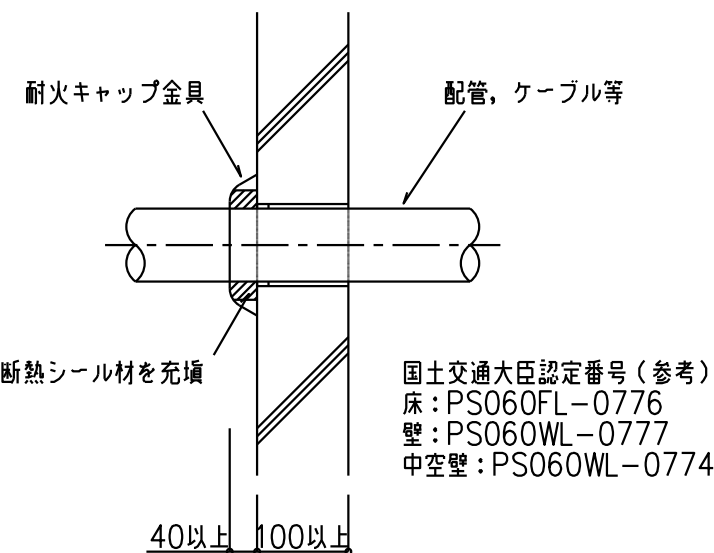
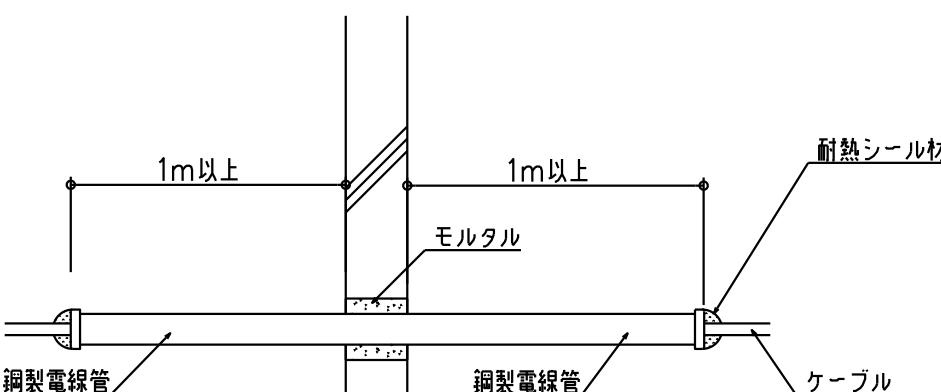
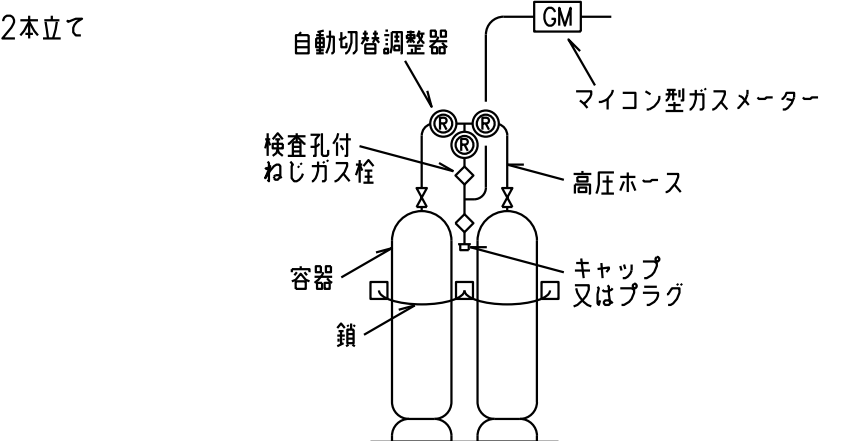
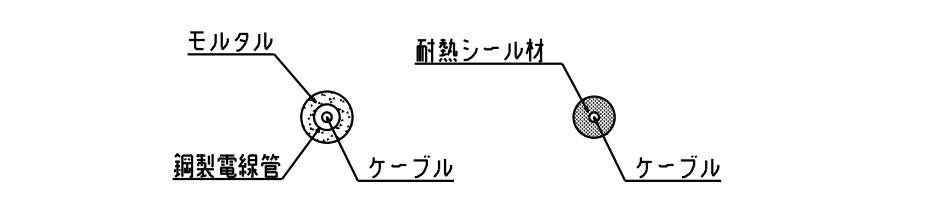
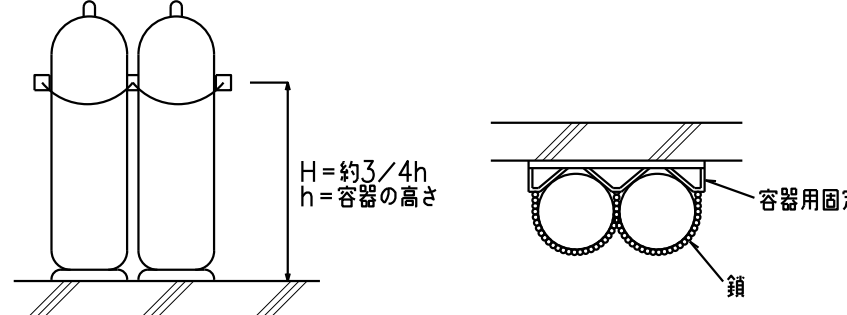
区分

機械設備

図面番号

M-217

基礎施工要領<コンクリート基礎及びアンカーボルト> S=N.S (a) 基礎の高さと配筋要領 D10-φ200 D10-φ200 D10-φ200 (1) コンクリート床に直立して設置する場合 (2) 床スラブとの間に定着筋を配筋する場合 (3) 床スラブと一体に配筋する場合 (b) アンカーボルトの取付要領 100以上 埋込アンカー 種族キアンカー (フライングパイプ使用の場合) コンクリート基礎の高さとアンカーボルトの適用例 <table><tr><th rowspan="2">機 器 名</th><th rowspan="2">基礎の高さ H (mm)</th><th colspan="6">基礎及びアンカーボルトの適用例</th></tr><tr><th>(1)</th><th>(2)</th><th>(3)</th><th>(4)</th><th>(5)</th><th>(6)</th></tr><tr><td>ポンプ</td><td>標準基礎 300</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td></td><td>防振基礎 150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>送風機</td><td>150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>空気調和機</td><td>150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>ボイラー過水発生機及び冷凍機</td><td>150</td><td>×</td><td>×</td><td>△</td><td>×</td><td>△</td><td>×</td></tr><tr><td>パッケージ形空気調和機</td><td>150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr><tr><td>受水タンク及び高置タンク</td><td>500</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>上記を軽くタンク類</td><td>150</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>冷却塔</td><td>150</td><td>○</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td><td>◎</td><td>△</td></tr></table> 注) イ. ◎印を適用してよい。尚、△印は1階以下及び中間階に適用してよい。 △印は1階以下に適用してよい。 ロ. (2)の、定着筋の埋込長さは、定着径dの35倍以上とする。 ハ. 接着系アンカーは◎印と△印に適用してもよい。	機 器 名	基礎の高さ H (mm)	基礎及びアンカーボルトの適用例						(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	ポンプ	標準基礎 300	○	△	◎	△	◎	△		防振基礎 150	○	△	◎	△	◎	△	送風機	150	○	△	◎	△	◎	△	空気調和機	150	○	△	◎	△	◎	△	ボイラー過水発生機及び冷凍機	150	×	×	△	×	△	×	パッケージ形空気調和機	150	○	△	◎	△	◎	△	受水タンク及び高置タンク	500	×	×	×	×	×	×	上記を軽くタンク類	150	×	×	×	×	×	×	冷却塔	150	○	△	◎	△	◎	△	受水槽廻り配管要領 S=N.S リレーユニット(室内) 防振板又は筒 マンホール 電磁弁用電極棒又は電極帯 通気口 BT20 緊急遮断弁 オーバーフロー管 電磁弁等20 GV20×3 FJ 定水位調整弁 CV又はBV 給水引込管 防虫網 GV 水接管 簡接排水口 排水口空間 排水管 ポンプ吸込管 CV又はBV 注) イ. ボールタップによる給水停止位置は、電磁弁等による停止位置よりも高くする。 ロ. 排水口空間は150mm以上とする。 ハ. 特記がある場合はタンクに水栓を設ける。 ニ. 緊急遮断弁は特記による。	機器廻り配管吊り及び支持要領 S=N.S (a) 防振継手を使用した機器 防振継手 防振継手 固定の例 形鋼振れ止め支持の例 (b) 高置タンク・受水タンク 形鋼振れ止め支持 形鋼振れ止め支持 形鋼振れ止め支持 形鋼振れ止め支持 高置台の場合 平置台の場合 給水管 給水管 給水管 給水管 注) イ. フレキシブルジョイントは、最大変位量を吸収できる位置に取り付ける。 ロ. FRP製タンクのオーバーフロー管は硬質塩化ビニル管(VP)とする。 ハ. ※印の形鋼振れ止め支持は、タンク本体の高さが2mを超える場合に設ける。	給水器具の吐水口空間要領 S=N.S 水栓 吐水口空間 越流面 以上3つの内径のうち最小内径を有効開口の内径d'としてます。 呼び径が25mm以下の場合 <table><tr><th>呼び径の区分</th><th>近接壁から吐水口の中心までの水平距離 B</th><th>越流面から吐水口の最下端までの垂直距離 A</th></tr><tr><td>13mm以下</td><td>25mm以上</td><td>25mm以上</td></tr><tr><td>13mmを超え20mm以下</td><td>40mm以上</td><td>40mm以上</td></tr><tr><td>20mmを超え25mm以下</td><td>50mm以上</td><td>50mm以上</td></tr></table> 呼び径が25mmを超える場合 <table><tr><th>区 分</th><th>壁からの離れ B</th><th>越流面から吐水口の最下端までの垂直距離 A</th></tr><tr><td>近接壁の影響が無い場合</td><td></td><td>1.7d'+5mm以上</td></tr><tr><td rowspan="2">近接壁の影響がある場合</td><td>近接壁1面の場合</td><td>3d'以下 3d'を超え5d'以下 5d'を超えるもの</td><td>3.0d'以上 2.0d'+5mm以上 1.7d'+5mm以上</td></tr><tr><td>近接壁2面の場合</td><td>4d'以下 4d'を超え6d'以下 6d'を超え7d'以下 7d'を超えるもの</td><td>3.5d'以上 3.0d'以上 2.0d'+5mm以上 1.7d'+5mm以上</td></tr></table> イ. 雨水排水管(雨水排水立管を除く)を汚水排水のための配管設備に連結する場合においては、当該雨水排水管に排水トラップを設けること。 ロ. 二重トラップとならないように設けること。 ハ. 排水管内の臭気、衛生害虫等の移動を有効に防止することができる構造とすること。ただし、阻集器を兼ねる排水トラップについては、この限りでない。 ホ. 排水深は、5cm以上10cm以下(阻集器を兼ねる排水トラップについては5cm以上)とすること。 ヘ. 容易に掃除ができる構造とすること。	呼び径の区分	近接壁から吐水口の中心までの水平距離 B	越流面から吐水口の最下端までの垂直距離 A	13mm以下	25mm以上	25mm以上	13mmを超え20mm以下	40mm以上	40mm以上	20mmを超え25mm以下	50mm以上	50mm以上	区 分	壁からの離れ B	越流面から吐水口の最下端までの垂直距離 A	近接壁の影響が無い場合		1.7d'+5mm以上	近接壁の影響がある場合	近接壁1面の場合	3d'以下 3d'を超え5d'以下 5d'を超えるもの	3.0d'以上 2.0d'+5mm以上 1.7d'+5mm以上	近接壁2面の場合	4d'以下 4d'を超え6d'以下 6d'を超え7d'以下 7d'を超えるもの	3.5d'以上 3.0d'以上 2.0d'+5mm以上 1.7d'+5mm以上	トラップ構造要領 S=N.S 留具よりの排水 フエア(あふれ面) Pトラップ ディップ Sトラップ 注) イ. 雨水排水管(雨水排水立管を除く)を汚水排水のための配管設備に連結する場合においては、当該雨水排水管に排水トラップを設けること。 ロ. 二重トラップとならないように設けること。 ハ. 排水管内の臭気、衛生害虫等の移動を有効に防止することができる構造とすること。ただし、阻集器を兼ねる排水トラップについては、この限りでない。 ホ. 排水深は、5cm以上10cm以下(阻集器を兼ねる排水トラップについては5cm以上)とすること。 ヘ. 容易に掃除ができる構造とすること。
機 器 名			基礎の高さ H (mm)	基礎及びアンカーボルトの適用例																																																																																																															
	(1)	(2)		(3)	(4)	(5)	(6)																																																																																																												
ポンプ	標準基礎 300	○	△	◎	△	◎	△																																																																																																												
	防振基礎 150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																																												
送風機	150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																																												
空気調和機	150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																																												
ボイラー過水発生機及び冷凍機	150	×	×	△	×	△	×																																																																																																												
パッケージ形空気調和機	150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																																												
受水タンク及び高置タンク	500	×	×	×	×	×	×																																																																																																												
上記を軽くタンク類	150	×	×	×	×	×	×																																																																																																												
冷却塔	150	○	△	◎	△	◎	△																																																																																																												
呼び径の区分	近接壁から吐水口の中心までの水平距離 B	越流面から吐水口の最下端までの垂直距離 A																																																																																																																	
13mm以下	25mm以上	25mm以上																																																																																																																	
13mmを超え20mm以下	40mm以上	40mm以上																																																																																																																	
20mmを超え25mm以下	50mm以上	50mm以上																																																																																																																	
区 分	壁からの離れ B	越流面から吐水口の最下端までの垂直距離 A																																																																																																																	
近接壁の影響が無い場合		1.7d'+5mm以上																																																																																																																	
近接壁の影響がある場合	近接壁1面の場合	3d'以下 3d'を超え5d'以下 5d'を超えるもの	3.0d'以上 2.0d'+5mm以上 1.7d'+5mm以上																																																																																																																
	近接壁2面の場合	4d'以下 4d'を超え6d'以下 6d'を超え7d'以下 7d'を超えるもの	3.5d'以上 3.0d'以上 2.0d'+5mm以上 1.7d'+5mm以上																																																																																																																
フロートスイッチへの接続要領 S=N.S マンホール等 インサート エンドカバー 中継ボックス又は制動盤 フックボルト ワイヤクリップ シール材充てん PF管 トラップ等 フロート ケーブルクリップ ワイヤ ワイエ 水槽 吊下げ式フロートスイッチの場合 (備考) (1) 管端は、シール材等で密閉する。 (2) 図は、一例を示す。 (3) 給水等が、フロートにあたらないようにする。	配管支持要領(立管支持) S=N.S 給水管、ガス管、消火管の支持 防熱テープ巻 防熱テープ巻 床バンド スラバ カガミ埋設 L-4t×50×50以上鋼材 ホルインイン(防止め表裏) Uバンド(20φ~65φ) 9mm(重筋メッキ) Uバンド(80φ~12mm(重筋メッキ) 注 支持金物はチャンネルでも可。 ポンプUPの配管はすべて垂直と斜を切る可。	インバート型要領 S=N.S マンホールふた(水封式) マンホールふた(水封式) 足部 D13内径(他はD10) 均しコンクリート D10-200φ D10-200φ D13内径(他はD10) 均しコンクリート 均しコンクリート <table><tr><th>記 号</th><th>B</th><th>H</th><th>T</th><th>t'</th><th>t''</th><th>ふた</th></tr><tr><td>SC-1</td><td>350×350</td><td>450以下</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>MHA-350</td></tr><tr><td>SC-2</td><td>450×450</td><td>460~600</td><td>100</td><td>120</td><td>100</td><td>MHA-450</td></tr><tr><td>SC-3</td><td>600×600</td><td>610~1,200</td><td>120</td><td>120</td><td>100</td><td>MHA-600</td></tr><tr><td>SC-4</td><td>900φ</td><td>1,210~2,500</td><td>150</td><td>150</td><td>150</td><td>MHA-600</td></tr><tr><td>SC-5</td><td>1,200φ</td><td>2,510~3,500</td><td>180</td><td>200</td><td>200</td><td>MHA-600</td></tr></table>	記 号	B	H	T	t'	t''	ふた	SC-1	350×350	450以下	100	100	100	MHA-350	SC-2	450×450	460~600	100	120	100	MHA-450	SC-3	600×600	610~1,200	120	120	100	MHA-600	SC-4	900φ	1,210~2,500	150	150	150	MHA-600	SC-5	1,200φ	2,510~3,500	180	200	200	MHA-600	ため柵要領 S=N.S マンホールふた(水封式) マンホールふた(水封式) 足部 D13内径(他はD10) 均しコンクリート D10-200φ D10-200φ D13内径(他はD10) 均しコンクリート 均しコンクリート <table><tr><th>記 号</th><th>B</th><th>H</th><th>T</th><th>t'</th><th>t''</th><th>ふた</th></tr><tr><td>RC-1</td><td>350×350</td><td>450以下</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>MHA-350</td></tr><tr><td>RC-2</td><td>450×450</td><td>460~600</td><td>100</td><td>120</td><td>100</td><td>MHA-450</td></tr><tr><td>RC-3</td><td>600×600</td><td>610~1,200</td><td>120</td><td>120</td><td>100</td><td>MHA-600</td></tr><tr><td>RC-4</td><td>900φ</td><td>1,210~2,500</td><td>150</td><td>150</td><td>150</td><td>MHA-600</td></tr><tr><td>RC-5</td><td>1,200φ</td><td>2,510~3,500</td><td>180</td><td>200</td><td>200</td><td>MHA-600</td></tr></table> 注) イ. 地中埋設柵の使用区分は、舗装部分にあって鉄製とし、その他の部分はコンクリート製とする。 ハ. 顔部には、図示の矢印及び「水」、「ガス」、「油」等の用途を表示する。尚、コンクリート製のものには記号を表示する。	記 号	B	H	T	t'	t''	ふた	RC-1	350×350	450以下	100	100	100	MHA-350	RC-2	450×450	460~600	100	120	100	MHA-450	RC-3	600×600	610~1,200	120	120	100	MHA-600	RC-4	900φ	1,210~2,500	150	150	150	MHA-600	RC-5	1,200φ	2,510~3,500	180	200	200	MHA-600	地中埋設柵要領 S=N.S 単位mm コンクリート製 図は舗装していない場合を示し、舗装した場合は地中埋設柵の上面を舗装面に合わせる。 矢印例 注) イ. 地中埋設柵の使用区分は、舗装部分にあって鉄製とし、その他の部分はコンクリート製とする。 ハ. 顔部には、図示の矢印及び「水」、「ガス」、「油」等の用途を表示する。尚、コンクリート製のものには記号を表示する。																											
記 号	B	H	T	t'	t''	ふた																																																																																																													
SC-1	350×350	450以下	100	100	100	MHA-350																																																																																																													
SC-2	450×450	460~600	100	120	100	MHA-450																																																																																																													
SC-3	600×600	610~1,200	120	120	100	MHA-600																																																																																																													
SC-4	900φ	1,210~2,500	150	150	150	MHA-600																																																																																																													
SC-5	1,200φ	2,510~3,500	180	200	200	MHA-600																																																																																																													
記 号	B	H	T	t'	t''	ふた																																																																																																													
RC-1	350×350	450以下	100	100	100	MHA-350																																																																																																													
RC-2	450×450	460~600	100	120	100	MHA-450																																																																																																													
RC-3	600×600	610~1,200	120	120	100	MHA-600																																																																																																													
RC-4	900φ	1,210~2,500	150	150	150	MHA-600																																																																																																													
RC-5	1,200φ	2,510~3,500	180	200	200	MHA-600																																																																																																													
土工要領 S=N.S 単位m (a) 直堀工法<給水管> 現場良質土 埋設機示テープ 山砂 h2 h1 h h1 h2																																																																																																																			

電気温水器廻り要領		S=N,S	小口径ビニル施工要領		S=N,S	建築物滲入部の変位吸収配管要領		S=N,S	冷媒管樹脂製ケース要領		S=N,S	冷媒管ステンレスカバー・溶融アルミニウム垂鉛鉄板カバー要領		S=N,S																	
																															
																															
冷媒管屋内保温要領			S=N,S	冷媒管屋内保温（隠べい）要領		S=N,S	冷媒配管支持要領		S=N,S	ダクトの防火区画貫通部施工要領		S=N,S	配管の防火区画貫通部施工要領（不燃材料）		S=N,S																
<table><tr><td>屋内露出</td><td>機械室・車庫・倉庫</td></tr><tr><td>合成樹脂カバー</td><td>アルミガラスクロス</td></tr><tr><td>鉄線</td><td>原紙(重ね幅30mm以上)</td></tr><tr><td>(1mにつき1箇所以上2回巻締め)</td><td>鉄線</td></tr><tr><td>グラスウール保温材</td><td>(1mにつき1箇所以上2回巻締め)</td></tr><tr><td>断熱材被覆鋼管</td><td>断熱材被覆鋼管</td></tr></table> 			屋内露出	機械室・車庫・倉庫	合成樹脂カバー	アルミガラスクロス	鉄線	原紙(重ね幅30mm以上)	(1mにつき1箇所以上2回巻締め)	鉄線	グラスウール保温材	(1mにつき1箇所以上2回巻締め)	断熱材被覆鋼管	断熱材被覆鋼管	S=N,S	<table><tr><td>屋内隠べい</td></tr><tr><td>ビニル粘着テープ ※1</td></tr><tr><td>(1mにつき1箇所2回巻)</td></tr><tr><td>断熱材被覆鋼管</td></tr></table> 		屋内隠べい	ビニル粘着テープ ※1	(1mにつき1箇所2回巻)	断熱材被覆鋼管	S=N,S			S=N,S			S=N,S			S=N,S
屋内露出	機械室・車庫・倉庫																														
合成樹脂カバー	アルミガラスクロス																														
鉄線	原紙(重ね幅30mm以上)																														
(1mにつき1箇所以上2回巻締め)	鉄線																														
グラスウール保温材	(1mにつき1箇所以上2回巻締め)																														
断熱材被覆鋼管	断熱材被覆鋼管																														
屋内隠べい																															
ビニル粘着テープ ※1																															
(1mにつき1箇所2回巻)																															
断熱材被覆鋼管																															
			S=N,S			S=N,S			S=N,S			S=N,S																			
配管の防火区画貫通部施工要領（不燃材料以外）			S=N,S	ケーブルの防火区画貫通部施工要領		S=N,S	液化石油ガス容器廻り配管・転倒防止施工要領		S=N,S																						
不燃材料以外の配管が、「建築基準法施行令第112条第20項」に規定する防火区画を貫通する場合（「建築基準法施行令第114条第5項」に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁を貫通する場合も同様）（「火気使用室」防火用主要な間仕切壁、「法35条の3」無窓居室壁を貫通する場合も同様） 			S=N,S	建築基準法施行令第129条の2の4第1項7号イ 規定 		S=N,S			S=N,S																						
			S=N,S			S=N,S			S=N,S																						
注）イ. 建築基準法令において1時間耐火性能満たし、国土交通大臣認定材料を使用すること。 ロ. 貫通部周囲の充填材は、必要に応じて脱着防止措置を施す。 ハ. 不燃材料以外のスリーブ材（紙製板状等）を使用した場合は、配管前に必ず取り除く。			S=N,S	断面図（2）		S=N,S	注）イ. 壁に支持できる場合は、容器用固定具を用いて、容器を固定する。 ロ. 容器は一本ごとに鎖掛けし、鎖は容器用固定具の先端部分に取り付ける。 ハ. 浸水のおそれがある場合は、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律施工規則の例示基準」の「充てん容器等の転落、転倒等による衝撃及びバルブ等の損傷を防止する措置並びに充てん容器等の流出を防止する措置」による。		S=N,S																						

特記

工事名称
東株父村新庁舎建設工事
図面名称
施工要領図(2)

図面尺度

日付

区分

図面番号

機械設備

M-302